



平成26年度

## 事業概要

千葉県千葉土木事務所

## 目 次

---

1. 管内の概要 .....	3
(1) 管内の概況	
(2) 所管事務事業の概要	
2. 事務所の組織 .....	5
(1) 組織図及び分掌	
(2) 職員構成現況表	
3. 平成 25 年度事業等執行状況 .....	7
(1) 予算執行状況	
(2) 用地等取得状況	
(3) 道路及び河川等占用許可状況	
(4) 境界立会申請取扱状況	
4. 平成 26 年度事業 .....	9
(1) 平成 26 年度事業の予算構成	
(2) 平成 25・26 年度事業対照表	
5. 主要事業の概要 .....	13
(1) 道路事業	
(国) 296 号	社会資本整備総合交付金事業
八千代市 米本 .....	13
(一) 八千代宗像線	社会資本整備総合交付金（住宅）事業
八千代市 保品 .....	14
(主) 船橋印西線	防災・安全交付金（交通安全）事業
八千代市 桑橋 .....	15
(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線	防災・安全交付金（交通安全）事業
習志野市 実穂 .....	16
(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線	防災・安全交付金（無電柱化）事業
習志野市 実穂 .....	17
(国) 296 号	防災・安全交付金（無電柱化）事業
八千代市 勝田台北 .....	18
(2) 河川事業	
(イ) 都川水系の河川事業 .....	19
(a) 都 川 .....	19
(二) 都 川	広域河川改修事業
千葉市若葉区～中央区 .....	22
(ロ) 利根川水系の河川事業 .....	24
(a) 印旛放水路 .....	24
(一) 印旛放水路	広域河川改修事業
八千代市村上～千葉市花見川区 .....	26
(b) 桑納川 .....	27
(一) 桑納川	総合流域防災事業・住宅市街地基盤整備事業
八千代市吉橋～船橋市古和釜 .....	27

## 目 次

---

(八) 急傾斜地崩壊対策事業	28
急傾斜地崩壊危険区域 桑納 3	
県単緊急急傾斜地崩壊対策事業	
八千代市 桑納	28
(3) 街路事業	29
習志野市都市計画道路 3・3・3号 藤崎茜浜線	
社会資本整備総合交付金（交付金街路）	
習志野市鷺沼台地先	29
習志野市都市計画道路 3・3・1号 東習志野実穀線	
社会資本整備総合交付金（交付金街路）	
習志野市東習志野地先	31
八千代都市計画道路 3・4・6号 八千代台花輪線	
社会資本整備総合交付金（交付金街路）	
八千代市八千代台西地先	33
千葉都市計画道路 3・3・15号 美浜長作町線外 2線	
社会資本整備総合交付金（交付金街路）	
習志野市実穀地先、千葉市花見川区長作町地先	34
(4) 公園事業	35
八千代都市計画公園 9・6・1号 八千代広域公園（広域公園）	
社会資本総合交付金（公園）	
八千代市萱田・村上	35
千葉都市計画公園 9・6・1号 幕張海浜公園（広域公園）	
防災・安全社会資本整備交付金（公園）	
千葉市美浜区ひび野	36
6. 道路、河川等の現況	37
(1) 道路路線別概要	37
(2) 1・2級河川（指定区域）	38・39
(3) 急傾斜地崩壊危険区域指定地	40・41
(4) 地すべり防止区域指定地	41
(5) 国土交通省河川局所管海岸保全区域指定地	41
(6) 都市計画道路	41
(7) 都市公園	41
7. 財産の管理状況	42
8. 千葉土木事務所機構の変遷	43
9. 歴代所長	44

## 1. 管内の概要

---

### (1) 管内の概況

当事務所は、千葉県のほぼ中央部に位置し、管内は政令指定都市千葉市と習志野市、八千代市からなり、その面積は約 344 km<sup>2</sup>、総人口は 132 万人で県人口の約 2 割が生活している地域である。

県都として政治・経済・文化・商業などの中心的都市であって、東京都心から約 40km の圏内に位置し、県内幹線道路及び鉄道網の要衝となっている。

さらには幕張新都心が位置し、中核施設である幕張メッセや業務研究ビル、ホテル等「職、住、学、遊」、などの複合機能の集積が進み、21世紀をリードする未来型の国際業務核都市としての役割を高めている。

地形的には、平均標高 20m 程度の平坦な大地が広がり、中央部を都川が流れ、北側には南北に印旛沼の治水のために人工的に開削された印旛放水路が東京湾に流れ込んでいる。

昭和 25 年川崎製鉄の誘致と千葉港の整備が始まり、昭和 30 年代後半から京葉工業地帯の造成が本格化し、首都東京のベッドタウンとして都市化の進展とともに人口増加が顕著となった。

昭和 60 年代には幕張新都心の建設が進み、平成 4 年 4 月に千葉市は全国で 12 番目の政令指定都市となった。このことにより、千葉市内における道路は、平成 4 年 4 月に 25 路線 113,131m が千葉市へ移管された。

このような中、当事務所では、中・長期的な視点に立ち、バリアフリーや環境に配慮した安全・安心な道路づくりや都市内交通の円滑化や市街地の形成等を図る街路の整備、急激な都市化による市街地の拡大に伴う流出量の増加に対して、河道拡幅や多目的遊水地等の流出抑制対策などの河川整備、都市域における水と緑の公的空間の確保を図る都市公園整備などに積極的に取り組んでいるところである。

管内の状況

平成 26 年 4 月 1 日現在

	千葉市	習志野市	八千代市	管内計	県全体
市制施行（年月日）	T10. 1. 1	S29. 8. 1	S42. 1. 1	—	—
行政面積 (ha)	27,208	2,099	5,127	34,434	515,662
行政人口 (人)	963,750	167,153	193,332	1,324,235	6,188,661
人口密度 (人/ha)	35	80	38		
世帯数 (戸)	417,822	72,914	82,634	573,370	2,585,236
都市計画区域面積 (ha)	27,208	2,099	5,127	34,434	204,459
市街化区域面積 (ha)	12,881	1,859	2,238	16,978	70,617
市街化調整区域面積 (ha)	14,327	240	2,889	17,456	133,842

## (2) 所管事務事業の概要

道路事業については、現道の混雑緩和を目指す国道 296 号(八千代バイパス)及び、一般県道八千代宗像線(八千代市保品)の道路改良工事を推進する。また、千葉ニュータウンと国道 16 号を結ぶ主要地方道千葉竜ヶ崎線バイパス(八千代市米本)については平成 20 年 1 月に供用を開始した。

更には、慢性的な渋滞箇所である主要地方道長沼船橋線と主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線が交差する習志野市実験地先の交差点改良事業を実施し、また、事故多発地点における交通安全施設の整備なども推進する。

河川事業については、千葉市のほぼ中央を流れる都川では、治水能力の向上を図るため、河道整備工事を進めるとともに、多目的遊水地の整備と用地の取得を推進する。

印旛放水路は、市街地にありながら自然環境が多く残されていることから、環境との調和を図りながら、流下能力の増加を図った河道拡幅を推進する。

桑納川の上流部においては、都市再生機構施行の土地区画整理事業が進められているため、住宅市街地基盤整備事業、総合流域防災事業を導入し、当面河道整備を推進する。

また、印旛放水路では、大和田排水機場から印旛沼側の神尾橋付近までの 7,000m 間と、桑納川の下流部 2,000m 間(印旛放水路との合流点から上流)について策定した整備計画が、「ふるさとの川モデル事業」として建設省の認定を受け、周辺の自然環境を生かした川づくりに努めているところである。

街路事業については、都市の骨格となる幹線街路を計画的に整備するとともに、既成市街地の円滑な通行を確保するため緊急に整備が必要な幹線街路について、千葉市域で 1 路線 1 箇所、習志野市域で 2 路線 2 箇所、八千代市域で 1 路線 1 箇所、計 4 路線 4 箇所の事業を推進する。

公園事業については、管内に 5 箇所の県立公園が都市計画決定されており、そのうち、「羽衣公園」と「千葉県スポーツセンター」及び「青葉の森公園」の 3 公園は整備が完了していることから、維持管理を行っており、幕張新都心に位置する「幕張海浜公園」及び八千代市の新川沿いに位置する「八千代広域公園」の 2 公園についての整備を推進している。

管理事務は、道路法、河川法、海岸法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律、都市公園法及び道路・河川等の財産管理に伴う境界確認等の業務を行っているが、近年の市街化の進展にともない業務量が増大し、内容も多様化している。

### 所管施設の概要

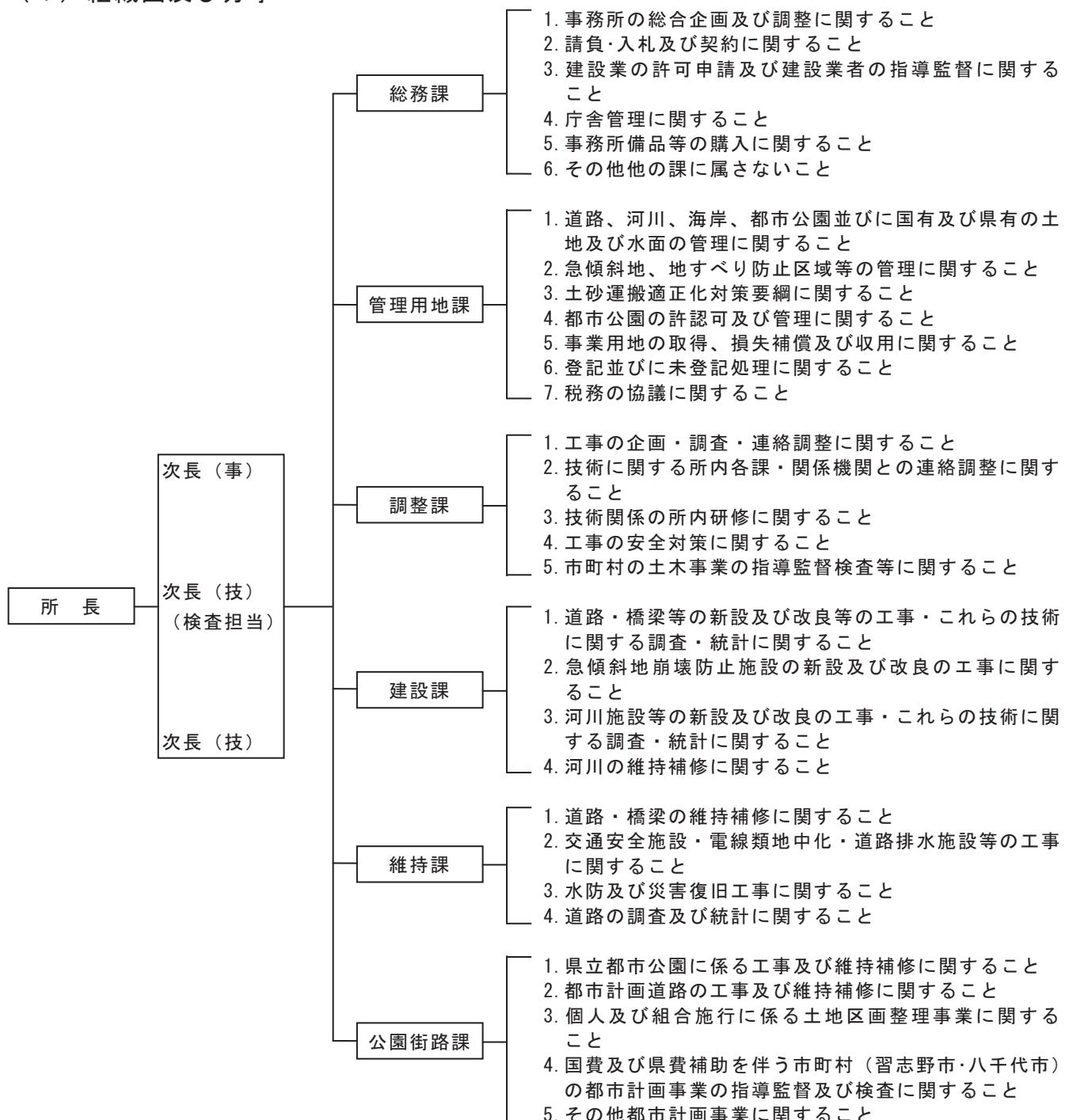
(平成 26 年 3 月 31 日現在)

法 律	区 分	路線河川数	指定延長(管理延長)又は面積
道 路	一般国道	2 路 線	9,572m
	主要地方道	5 路 線	24,336m
	一般県道	4 路 線	10,497m
	自転車道	1 路 線	887m
	計	12 路 線	45,292m
河 川	一級河川	5 河 川	左右岸 30,600m
	二級河川	11 河 川	左右岸 37,291m
	計	16 河 川	左右岸 67,891m
急 傾 斜		48 地 区	39.2ha
地すべり		1 地 区	3.1ha
海 岸		1 海 岸	2,687m
都市計画	街 路	4 路 線	1,772m
都市公園	公 園	5 公 園	222.2ha うち開設面積 : 164.8ha

注) 千葉市内における道路は、平成 4 年 4 月 25 路線 113,131m が千葉市へ移管された。

## 2. 事務所の組織

### (1) 組織図及び分掌



(2) 職員構成現況表

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

	所 長	次 長	主 幹	總 務	管 理 用 地 課	調 整 課	建 設 課	維 持 課	公 園 街 路 課	計
	長	長	幹	課	課	課	課	課	課	
所 長(技)	1									1
次 長(事)		1								1
次 長(技)		2								2
主 幹(技)										0
課 長(事)					1					1
課 長(技)						1	1	1		3
副主幹(事)				1	2					3
副主幹(技)						1	1	1		3
主 査(事)				1	1					2
主 査(技)						1	2	1	2	6
副主査(事)				3	1					4
副主査(技)							1			1
主 事					1					1
技 師							2	2	2	6
主任運転技師				1						1
計	1	3	0	6	6	3	7	5	4	35
嘱託					3					3

### 3. 平成 25 年度事業執行状況

#### (1) 予算執行状況

歳入決算額

(単位：円)

科 目	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減
6 分担金及び負担金	96,855,279	164,423,575	△ 67,568,296
1 負担金	96,855,279	164,423,575	△ 67,568,296
7 使用料及び手数料	110,363,005	123,401,873	△ 13,038,868
1 使用料	81,724,905	80,667,923	1,056,982
2 手数料	28,638,100	42,733,950	△ 14,095,850
9 財産収入	462,675	348,247	114,428
1 財産運用収入	462,675	348,247	114,428
13 諸収入	6,897,512	6,234,800	662,712
7 雑入	6,897,512	6,234,800	662,712
合 計	214,578,471	294,408,495	△ 79,830,024

歳出決算額

(単位：円)

科 目	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減
一般会計	2,558,747,101	3,544,515,679	△ 985,768,578
9 土木費	2,485,930,301	3,469,333,929	△ 983,403,628
1 土木管理費	17,326,381	16,404,406	921,975
2 道路橋りょう費	650,052,908	960,092,240	△ 310,039,332
3 河川海岸費	1,147,080,023	1,331,249,470	△ 184,169,447
5 都市計画費	671,470,989	1,161,587,813	△ 490,116,824
12 災害復旧費	72,816,800	75,181,750	△ 2,364,950
2 土木施設災害復旧費	72,816,800	75,181,750	△ 2,364,950
合 計	2,558,747,101	3,544,515,679	△ 985,768,578

## (2) 用地等取得状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

		取得面積(m <sup>2</sup> )	用地取得金額(円)	物件補償金額(円)	筆数
道路工事	国庫補助事業計	358.56	35,131,441	52,925,960	6
	県単独事業計	0	0	0	0
	合計	358.56	35,131,441	52,925,960	6
河川工事	国庫補助事業計	8,555.43	49,280,497	0	48
	県単独事業計	—	—	1,852,200	—
	合計	8,555.43	49,280,497	1,852,200	48
公園工事	国庫補助事業計	—	—	—	—
	県単独事業計	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—
合計	国庫補助事業計	8,913.99	84,411,938	52,925,960	54
	県単独事業計	0	0	1,852,200	0
	合計	8,913.99	84,411,938	54,778,160	54

## (3) 道路及び河川等占用許可状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

		道路		河川水面		海岸保全		都市公園	
		件数	調定額(円)	件数	調定額(円)	件数	調定額(円)	件数	調定額(円)
有料	継続	133	21,460,547	214	6,051,030	1	2,200	39	18,960,810
	更新	23	957,100	34	822,350	20	167,240	14	11,686,060
	新規	29	289,345	4	6,208	0	0	245	17,675,045
	小計	185	22,706,992	252	6,879,588	21	169,440	298	48,321,915
無料	継続	2081	0	385	0	2	0	37	0
	更新	146	0	43	0	0	0	8	0
	新規	92	0	17	0	0	0	20	0
	小計	2319	0	445	0	0	0	65	0
計		2504	22,706,992	697	6,879,588	23	169,440	363	48,321,915

## (4) 境界立会申請取扱状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	申請に基づくもの		県事業に係るもの	計
	用途廃止に係るもの	その他		
平成 24 年度計	1	49	6	56

## 4. 平成 26 年度事業

### (1) 平成 26 年度事業の予算編成（平成 26 年 8 月 31 日現在）

①道路事業	事業名	H26 年度予算額	うち H25 年度からの繰越	割合
道路事業(公共)	社会資本整備総合交付金（道路） 道路維持（交付金・交通安全）他	638, 939, 850	388, 703, 590	15. 2
道路事業(県単)	道路改良、舗装道路修繕 他	480, 038, 370	53, 759, 060	11. 4
公共+県単		1, 118, 978, 220	442, 462, 650	

②河川事業	事業名	H26 年度予算額	うち H25 年度からの繰越	割合
河川事業(公共)	広域河川改修、活力創出河川整備 住宅市街地基盤整備 他	792, 864, 726	291, 864, 726	18. 9
河川事業(県単)	河川改良、河川維持、河川環境整備 緊急急傾斜地崩壊対策 他	375, 410, 600	32, 208, 600	8. 9
公共+県単		1, 168, 275, 326	324, 073, 326	

③街路事業	事業名	H26 年度予算額	うち H25 年度からの繰越	割合
街路事業(公共)	社会資本整備総合交付金（交付金街路）	645, 380, 310	354, 380, 310	15. 4
街路事業(県単)	街路整備整備事業（整備費） 他	147, 948, 500	8, 548, 500	3. 5
公共+県単		793, 358, 810	362, 928, 810	

④公園事業	事業名	H26 年度予算額	うち H25 年度からの繰越	割合
公園事業(公共)	社会資本整備総合交付金（公園） 他	310, 322, 650	229, 222, 650	7. 4
公園事業(県単)	公園整備 他	660, 547, 800	171, 222, 800	15. 7
公共+県単		970, 870, 450	400, 445, 450	

⑤災害復旧事業	事業名	H26 年度予算額	うち H25 年度からの繰越	割合
災害復旧事業(公共)	河川災害復旧	147, 820, 000	147, 820, 000	3. 5
災害復旧事業(県単)		0	0	0. 0
公共+県単		147, 820, 000	147, 820, 000	

総事業費	4, 199, 302, 806	1, 677, 730, 236	100. 0
------	------------------	------------------	--------

## (2) 平成 25・26 年度事業対照表（事務費を除く）

(平成 26 年 8 月 31 日現在) (単位 : 円)

事業名	平成 25 年度 最終予算額	(うち平成 24 年 度からの繰越)	平成 26 年度 予算額	(うち平成 25 年 度からの繰越)
① 道路事業	1,059,733,790	286,675,470	1,118,978,220	442,462,650
公共	道路維持（交付金・交通安全）（国）296号	20,364,400	7,873,250	12,491,150
	防災・安全交付金（交通安全） (主)千葉鎌ヶ谷松戸線(主)船橋印西線	200,167,520	43,710,470	224,386,200
	防災・安全交付金（無電柱化） (主)千葉鎌ヶ谷松戸線	85,800,000	30,300,000	91,000,000
	防災・安全交付金（無電柱化）（国）296号	91,796,050	27,296,050	111,418,200
	防災・安全交付金（橋梁補修） (主)千葉竜ヶ崎線	0	0	30,000,000
	道路維持（交付金・橋梁長寿命化）	15,000,000	15,000,000	0
	道路維持（交付金・空洞化調査）	3,360,000	3,360,000	0
	道路維持（交付金・道路ストック点検）	5,492,700	2,492,700	0
	道路維持（交付金・舗装修繕）	36,900,000	36,900,000	0
	道路ストック総点検（補助）	2,572,500	2,572,500	0
	交通安全施設整備（補助）	35,000,000	35,000,000	0
	社会資本整備総合交付金（道路）（国）296号	26,100,000	0	18,965,900
県単	社会資本整備総合交付金（住宅） (一)八千代宗像線	235,653,550	57,573,550	150,678,400
	公共計	758,206,720	262,078,520	638,939,850
	道路管理	13,391,100	0	18,402,000
	舗装道路修繕	102,900,000	0	137,000,000
	排水整備	15,450,000	4,100,000	16,959,350
	交通安全対策	59,153,950	14,120,950	174,218,910
	電線類地中化整備	3,500,000	2,900,000	0
	道路維持修繕	49,322,120	0	51,090,310
	橋梁修繕	8,276,000	3,476,000	2,127,600
	道路調査	840,000	0	0
県単計	道路改良（幹線）	48,694,000	0	48,240,200
	道路改良（一般）	0	0	32,000,000
県単計		301,527,070	24,596,950	480,038,370
				53,759,060

(平成 26 年 8 月 31 日現在) (単位 : 円)

事業名	平成 25 年度 最終予算額	(うち平成 24 年 度からの繰越)	平成 26 年度 予算額	(うち平成 25 年 度からの繰越)
② 河川事業	1,497,946,638	717,892,490	1,168,275,326	324,073,326
公共	総合流域防災（河川）	136,638,004	52,475,104	203,365,703
	住宅市街地基盤整備	227,675,486	223,675,486	34,000,000
	土砂災害防止	29,924,000	13,234,000	91,828,000
	広域河川改修	508,602,198	147,816,900	439,394,973
	活力創出土砂災害防止	55,000,000	0	8,276,050
	活力創出河川整備	260,000,000	260,000,000	0
	河川管理施設機能確保	0	0	16,000,000
公共計		1,217,839,688	697,201,490	792,864,726
県単	河川管理	51,465,000	0	56,950,000
	都市河川管理	1,360,000	0	2,600,000
	河川維持	27,806,000	10,906,000	17,488,400
	河川調査	5,775,000	0	0
	河川環境整備	39,045,000	0	42,080,000
	河川改良	94,500,950	9,785,000	149,551,000
	砂防調査	2,000,000	0	2,000,000
	砂防整備	8,600,000	0	3,500,000
	緊急急傾斜地崩壊対策	30,000,000	0	37,852,000
水防		19,555,000	0	63,389,200
県単計		280,106,950	20,691,000	375,410,600
				32,208,600

(平成 26 年 8 月 31 日現在) (単位 : 円)

事業名		平成 25 年度 最終予算額	(うち平成 24 年度からの繰越)	平成 26 年度 予算額	(うち平成 25 年度からの繰越)
③街路事業		557,557,534	94,623,630	793,358,810	362,928,810
公共	社会資本整備総合交付金(交付金街路)	526,488,630	91,788,630	645,380,310	354,380,310
	公共計	526,488,630	91,788,630	645,680,310	354,380,310
県単	地方特定道路整備	2,835,000	2,835,000	0	0
	街路整備整備事業(整備費)	25,454,554	0	141,548,500	8,548,500
	街路整備整備事業(管理費)	2,779,350	0	6,400,000	0
	県単計	31,068,904	2,835,000	147,948,500	8,548,500

(平成 26 年 8 月 31 日現在) (単位 : 円)

事業名		平成 25 年度 最終予算額	(うち平成 24 年度からの繰越)	平成 26 年度 予算額	(うち平成 25 年度からの繰越)
④公園事業		887,118,827	97,684,350	970,870,450	400,445,450
公共	防災・安全社会資本整備交付金(公園)	198,717,850	34,493,350	119,062,000	98,862,000
公共	社会資本整備総合交付金(公園)	221,682,516	54,561,000	191,260,650	130,360,650
	公共計	420,400,366	89,054,350	310,322,650	229,222,650
県単	公園整備事業	235,858,050	8,630,000	436,742,800	171,222,800
	公園管理事業	230,860,411	0	223,805,000	0
	県単計	466,718,461	8,630,000	660,547,800	171,222,800

(平成 26 年 8 月 31 日現在) (単位 : 円)

事業名		平成 25 年度 最終予算額	(うち平成 24 年度からの繰越)	平成 26 年度 予算額	(うち平成 25 年度からの繰越)
⑤災害復旧事業		220,536,050	68,180,000	147,820,000	147,820,000
公共	河川海岸災害復旧	201,897,500	68,180,000	147,820,000	147,820,000
	公共計	201,897,500	68,180,000	147,820,000	147,820,000
県単	県単河川海岸災害復旧	1,102,500	0	0	0
	県単災害関連	17,536,050	0	0	0
	県単計	18,638,550	0	0	0

千葉土木事務所事業費 合計	4,222,892,839	1,265,055,940	4,199,302,806	1,677,730,236
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

## 5. 主要事業の概要

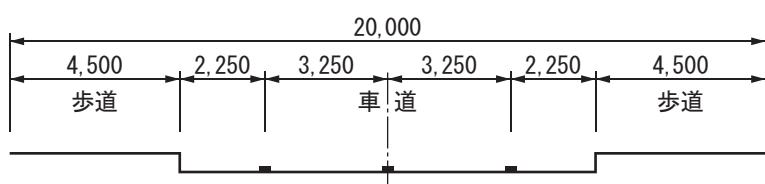
### (1) 道路事業

事業名	社会資本整備総合交付金事業		
路線名	(国) 296 号		
工事箇所	八千代市 米本		
《概要》 当路線は、八日市場市から船橋市までの総延長 73.8km の一般国道で、現道の混雑解消並びに地域間相互の結びつきを強め、地域社会の発展性を高めるため計画されたバイパスである。このバイパスは、平成元年度まで県単道路改良事業として調査を進めてきたが、平成 2 年度から国庫補助事業により国道 16 号～国道 296 号(佐倉市上座)の区間 5,200m(千葉土木事務所:2,200m、印旛土木事務所:3,000m)の整備に着手しており、当管内において平成 19 年度国道 16 号～県道千葉竜ヶ崎線(都計道 3・4・9 号)まで約 700m 区間が、供用開始したところであり、残り 1,500m 区間の整備を引き続き進める。			
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降
総事業費: 5,254 百万円  L=2,200m W=6.5m(20.0m) 用地取得: 54,380 m <sup>2</sup> 物件補償: 32 件 本工事: 2,200m 橋梁: 3 橋 事業年度: 平成 2 年度～平成 33 年度	事業費: 3,382 百万円 (進捗率 64%)  用地取得: 42,988 m <sup>2</sup> 物件補償: 31 件 本工事: 700m 橋梁: 1 橋	事業費: 38 百万円 (進捗率 65%)  用地取得: 800 m <sup>2</sup>	事業費: 1,834 百万円  用地取得: 10,592 m <sup>2</sup> 本工事: 1,500m 橋梁: 2 橋

《位置図》



《標準断面図》



事業名	社会資本整備総合交付金（住宅）事業
路線名	(一) 八千代宗像線
工事箇所	八千代市 保品

《概要》 当路線は、(主) 千葉竜ヶ崎線を起点とし、(主) 千葉臼井印西線に至る幹線道路であり、千葉ニュータウン及び印西市中心部から国道 16 号を連絡する唯一の道路である。

本事業区間は、幅員狭小、急カーブ、急勾配区間が点在することから、車両の交通に支障をきたしており(規制速度 20km/h 区間有り)、歩道についても未整備であるため早急な整備が望まれている。

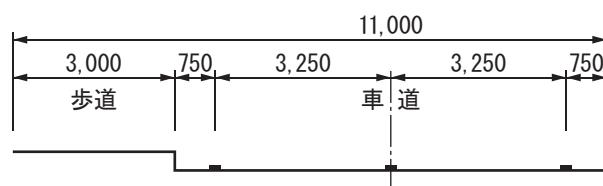
周辺には、ゴルフ場も多く、遺跡、人家連担地域等を避けたバイパス整備にて円滑な交通を図る。

全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降
総事業費 : 1,910 百万円 L=1,360m W=14m 用地取得 : 16,469 m <sup>2</sup> 本工事 : 1,360m 橋梁 : 2 橋 事業年度 : 平成 7 年度 ～平成 26 年度	事業費 : 1,849 百万円 (進捗率 97%)  用地取得 : 16,469 m <sup>2</sup> 本工事 : 道路改良工 L=1310m 盛工工 V=20,050 m <sup>3</sup> 横管工 2 基 橋梁 : 2 橋	事業費 : 42 百万円 (進捗率 100%)  本工事 : 道路改良工 L=50m 補装工 A=2,000 m <sup>2</sup>	平成 26 年度完了予定

《位置図》



《標準断面図》



事業名	防災・安全交付金（交通安全）事業										
路線名	(主) 船橋印西線										
工事箇所	八千代市 桑橋										
<p>《概要》 本路線は、国道 296 号から国道 16 号を経由し千葉ニュータウンへ連絡する幹線道路で、交通量が著しく増加している路線である。</p> <p>事業区間周辺は、小中学校・公共施設等が立地しており、歩行者・自転車の交通量が多い地区となっている。</p> <p>しかし、歩道が一部未整備であるため歩行者は路肩を通行しており、たいへん危険な状況となっていることから、歩道を整備し歩行者の安全な通行を図る。</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>全体計画</th> <th>平成 25 年度まで</th> <th>平成 26 年度予定</th> <th>平成 27 年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費：1,000 百万円 工種：歩行者道 L=760m W=2.5m × 両側 用地取得：5,049 m<sup>2</sup> 物件補償：1 式 本工事：760m(1,520m) 事業年度：平成 11 年度～平成 28 年度</td><td>事業費：778 百万円 (進捗率 78%)  委託：1 式 本工事：1,172m 用地取得：4,707 m<sup>2</sup> 物件補償：1 式</td><td>事業費：13 百万円 (進捗率 79%)  委託：1 式 用地取得：162 m<sup>2</sup> 物件補償：8 件</td><td>事業費：209 百万円  委託：1 式 本工事：348m 用地取得：180 m<sup>2</sup> 物件補償：1 式</td></tr> </tbody> </table>				全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降	総事業費：1,000 百万円 工種：歩行者道 L=760m W=2.5m × 両側 用地取得：5,049 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式 本工事：760m(1,520m) 事業年度：平成 11 年度～平成 28 年度	事業費：778 百万円 (進捗率 78%)  委託：1 式 本工事：1,172m 用地取得：4,707 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式	事業費：13 百万円 (進捗率 79%)  委託：1 式 用地取得：162 m <sup>2</sup> 物件補償：8 件	事業費：209 百万円  委託：1 式 本工事：348m 用地取得：180 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降								
総事業費：1,000 百万円 工種：歩行者道 L=760m W=2.5m × 両側 用地取得：5,049 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式 本工事：760m(1,520m) 事業年度：平成 11 年度～平成 28 年度	事業費：778 百万円 (進捗率 78%)  委託：1 式 本工事：1,172m 用地取得：4,707 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式	事業費：13 百万円 (進捗率 79%)  委託：1 式 用地取得：162 m <sup>2</sup> 物件補償：8 件	事業費：209 百万円  委託：1 式 本工事：348m 用地取得：180 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式								
《位置図》											
《標準断面図》											

事業名	防災・安全交付金（交通安全）事業		
路線名	(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線		
工事箇所	習志野市 実粋		
《概要》	<p>(主) 長沼船橋線と(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線が交わる実粋交差点は、千葉方面と船橋方面への右折車両が多く、右折車線のない現状ではスムーズな交通流が阻害される原因となっている。</p> <p>このため、右折車両の多い(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線に安全な交差点構造(右折車線設置、十分な隅切り等)を確保することにより、交通の整流化及び事故防止を図る。</p>		
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降
総事業費：1,000 百万円 工種：交差点改良 L=220m、付加車線 3.0m 歩道幅員：3.5m 用地取得：1,488 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式 事業年度：平成 21 年度～平成 31 年度	事業費：510 百万円 (進捗率 51%)  委託：1 式 用地取得：743 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式	事業費：98 百万円 (進捗率 61%)  委託：1 式 用地取得：45 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式	事業費：392 百万円  委託：1 式 本工事：220m 用地取得：700 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式
《位置図》			
《標準断面図》			

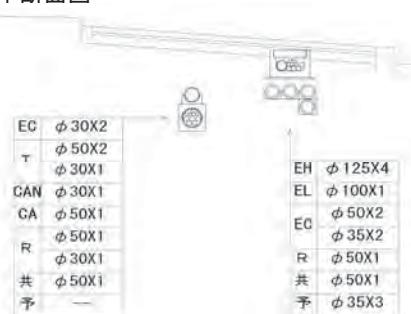
事業名	防災・安全交付金（無電柱化）事業		
路線名	(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線		
工事箇所	習志野市 実粋		
《概要》 本地区は、京成実粋駅に隣接し、周辺には商店街・小中学校・病院等が立地していることから、商店街利用者・通勤・通学で駅を利用する歩行者が非常に多い地区である。			
			このため、歩行者・自転車利用者の安全かつ円滑な通行の確保、良好な都市・道路景観の向上及び防災対策等の観点から、電線共同溝方式により電線類の地中化を図る。
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降
総事業費：590 百万円 工種：電線共同溝 L=670m × 両側 管路工：1 式 特殊人孔：1 式 事業年度：平成 14 年度～平成 28 年度	事業費：471 百万円 (進捗率 80%) 委託：1 式 本工事：1,010m	事業費：35 百万円 (進捗率 86%) 委託：1 式 本工事：引込管 連系管	事業費：84 百万円 本工事：330m

《位置図》



《標準断面図》

標準断面図



事業名	防災・安全交付金（無電柱化）事業																																
路線名	(国) 296号																																
工事箇所	八千代市 勝田台北																																
《概要》 本事業箇所は、京成電鉄勝田台駅前から西へ 50m の区間にあり、沿道には商業施設や住宅が建ち並んでいることから、当該地区の安全かつ円滑な交通の確保、都市景観や都市防災性の向上を図るため、電線共同溝による電線類の地中化を促進する。																																	
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降																														
総事業費：470 百万円 工種：電線共同溝 L=500m ×両側 管路工：1 式 特殊人孔：1 式  事業年度：平成 21 年度～平成 28 年度	事業費：245 百万円 (進捗率 38%)  委託：1 式 本工事：553m	事業費：48 百万円 (進捗率 55%)  委託：1 式 本工事：39m	事業費：240 百万円  委託：1 式 本工事：408m																														
《位置図》																																	
《標準断面図》																																	
<p>標準断面図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入港者</th> <th>記号</th> <th>ケーブル種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路管理者</td> <td>○手</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">東京電力(株)</td> <td>E-L</td> <td>電力配線</td> </tr> <tr> <td>E-街</td> <td>電力直送(面灯)</td> </tr> <tr> <td>E-H</td> <td>電力高圧</td> </tr> <tr> <td>E-割</td> <td>電力高圧(割離)</td> </tr> <tr> <td>E-予</td> <td>電力予備</td> </tr> <tr> <td>E-T</td> <td>保安通信</td> </tr> <tr> <td>E-H</td> <td>電力送配</td> </tr> <tr> <td>NTT東日本(株)</td> <td>T</td> <td>情報通信</td> </tr> <tr> <td>(株) ジェイコム千葉</td> <td>J</td> <td>情報通信</td> </tr> <tr> <td>千葉PG光ネット(株)</td> <td>H</td> <td>情報通信</td> </tr> </tbody> </table>				入港者	記号	ケーブル種類	道路管理者	○手		東京電力(株)	E-L	電力配線	E-街	電力直送(面灯)	E-H	電力高圧	E-割	電力高圧(割離)	E-予	電力予備	E-T	保安通信	E-H	電力送配	NTT東日本(株)	T	情報通信	(株) ジェイコム千葉	J	情報通信	千葉PG光ネット(株)	H	情報通信
入港者	記号	ケーブル種類																															
道路管理者	○手																																
東京電力(株)	E-L	電力配線																															
	E-街	電力直送(面灯)																															
	E-H	電力高圧																															
	E-割	電力高圧(割離)																															
	E-予	電力予備																															
	E-T	保安通信																															
	E-H	電力送配																															
NTT東日本(株)	T	情報通信																															
(株) ジェイコム千葉	J	情報通信																															
千葉PG光ネット(株)	H	情報通信																															

## (2) 河川事業

### (イ) 都川水系の河川事業

#### (a) 都川

県都千葉市の中北部を貫流している都川は、千葉市緑区誉田町地先にその源を発し、水田地帯を流下しながら、中流で坂月川、支川都川を合わせ、千葉市市街地中心部を貫流した後、都橋下流で葭川を合わせ、東京湾に注ぐ流路延長 15.7km、流域面積 71.65 km<sup>2</sup> の二級河川である。

流域の中・上流域は丘陵地帯で畠・山林が広がっているが、下流域は県都千葉市の中 心地で密集市街地が広がっており、千葉市における社会・経済の基盤を形成している。

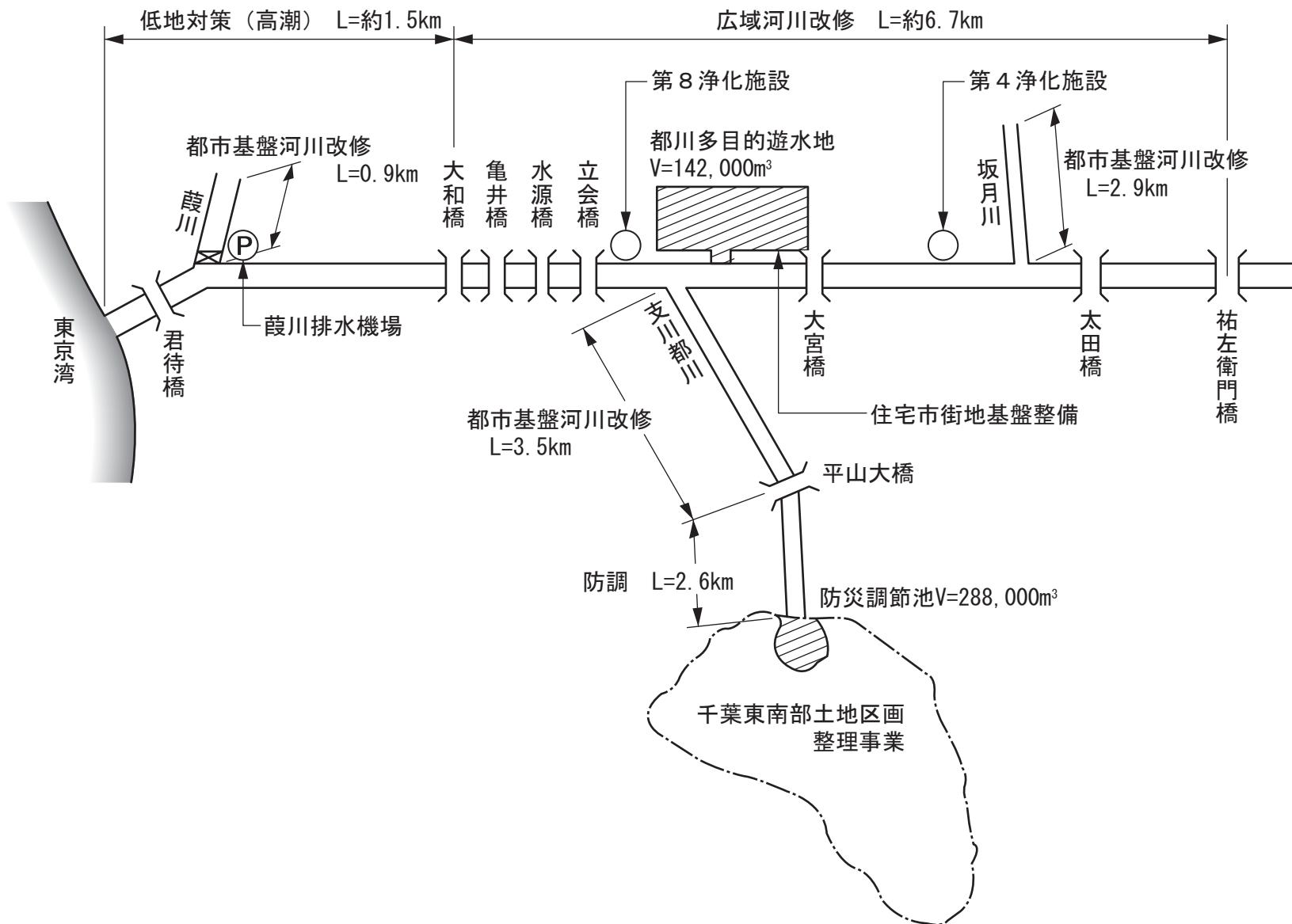
昭和 39 年より河川改修を実施しているが、河口より立会橋の間約 3.5km の沿川は家屋商店が密集していることや、流域の急激な都市化による市街地の拡大に伴う流出量が増加しているため、河道拡幅、河床掘削等による河川改修方式のみの洪水対策には限界がある。

このため、多目的遊水地・防災調整池・調整池等の流出抑制対策を実施するなど総合的な治水対策を進め流域の治水安全度の向上を図っている。

川沿いは都市域の中で貴重な緑と水辺の空間を形成しており、河川の整備においてはその保全・有効利用のため周辺環境との調和を図りながら水辺空間の整備を併せ実施している。

都川の整備は、昭和 62 年に策定した工事実施基本計画に基づいて進めてきたが、平成 9 年に改正された新河川法に基づき学識経験者、地域住民、市民団体そして地元自治体の長で構成される「都川流域懇談会」を設立し、地域の意見聴取を行い、地域と一体となった河川整備の推進及び充実を図っているところである。

都川水系事業区域図



## 都川計画流量配分図

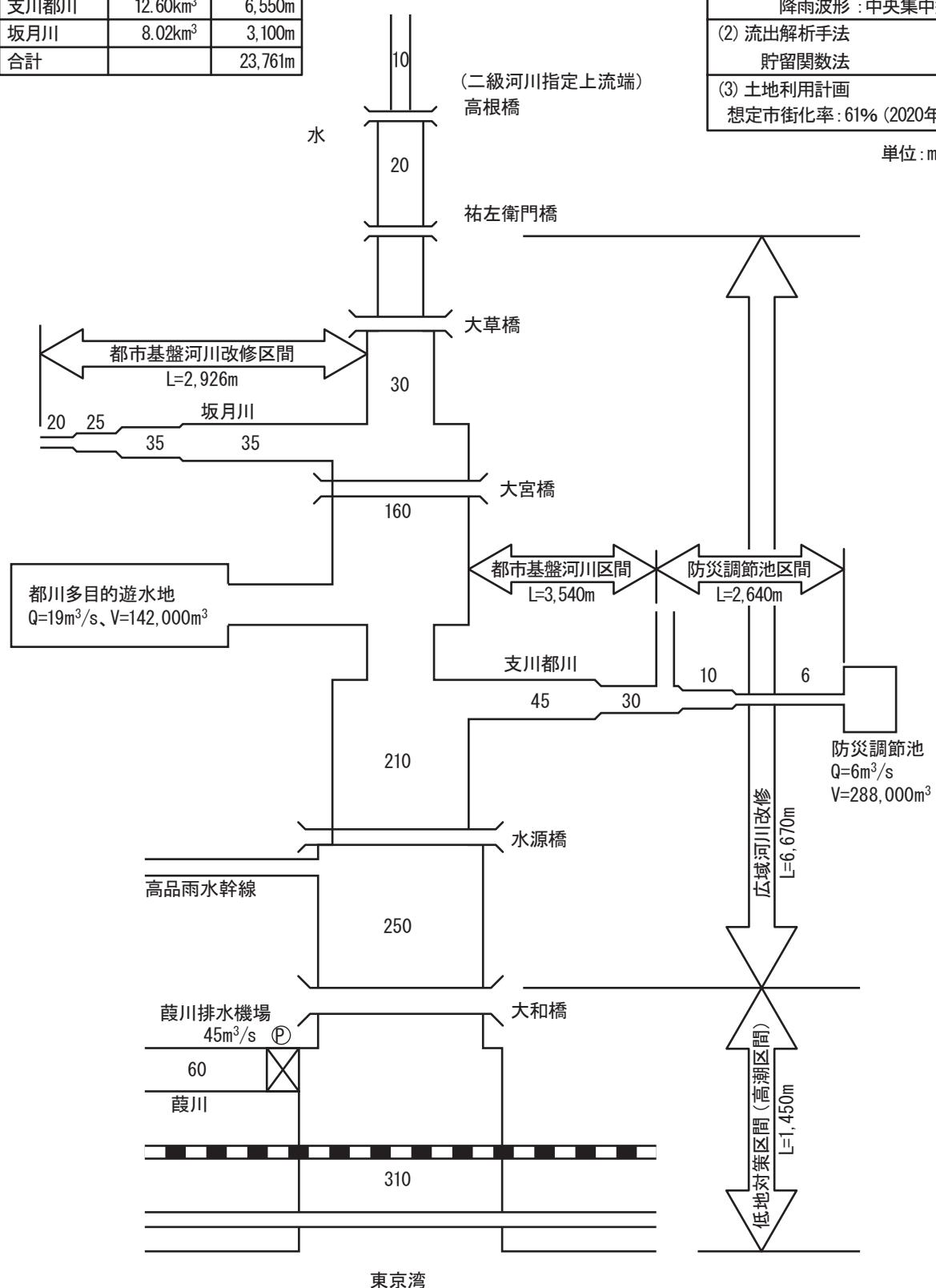
### 流域の概要

	流域面積	指定延長
都川(河口)	71.65km <sup>3</sup>	13,051m
葭川	14.93km <sup>3</sup>	1,060m
支川都川	12.60km <sup>3</sup>	6,550m
坂月川	8.02km <sup>3</sup>	3,100m
合計		23,761m

### 整備計画の概要

(1) 計画対象降雨
年超過確率 : W=1/50
降雨量 : R=70.4mm/hr
降雨波形 : 中央集中型
(2) 流出解析手法
貯留関数法
(3) 土地利用計画
想定市街化率: 61% (2020年)

単位: m<sup>3</sup>/s

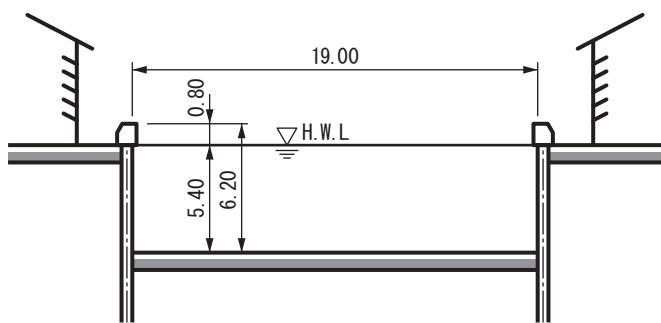


事業名	広域河川改修事業		
路線名	(二) 都川		
工事箇所	千葉市若葉区～中央区		
<p>《概要》 大和橋から祐佐衛門橋までの約 6.7km 区間について、河道改修と遊水地整備を併せた治水対策を進めるものである。</p> <p>大和橋から加曽利町までの約 3.9km については、河積の拡大を図るため河道の拡幅、掘削、築堤、護岸等を実施している。</p> <p>更に、加曽利町から祐佐衛門橋までの約 2.7km については、河積の拡大を図るため用地の取得を進める。</p>			
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降
総事業費：23,063 百万円 L=6,670m	事業費：16,467 百万円 (進捗率 71%)	事業費：80 百万円 (進捗率 72%)	事業費：6,516 百万円
用地取得：229,328 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式 本工事：護岸 3,940m 掘削 722,000 m <sup>3</sup> 築堤 2,730m 水門等 10 基 附帯工事：道路橋 15 橋 事業年度：昭和 39 年度 ～平成 37 年度	用地取得：201,193 m <sup>2</sup> 物件補償：1 式 本工事：護岸 3,626m 掘削 88,370 m <sup>3</sup> 築堤 2,422m 水門等 9 基 附帯工事：道路橋 13 橋	本工事：調節池掘削 7,300 m <sup>3</sup>	用地取得：28,135 m <sup>2</sup> 護岸 314m 掘削 626,330 m <sup>3</sup> 築堤 308m 水門等 1 基 附帯工事：道路橋 2 橋

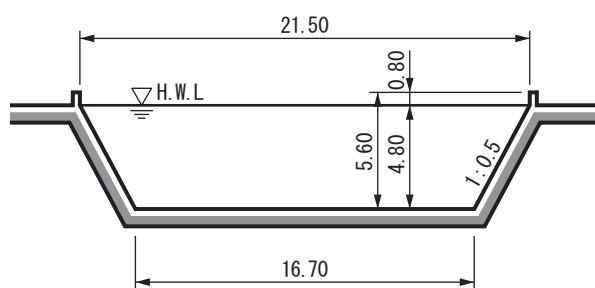
《位置図》 都川水系事業区域図（21 頁）参照

《標準断面図》 次頁（24 頁）参照

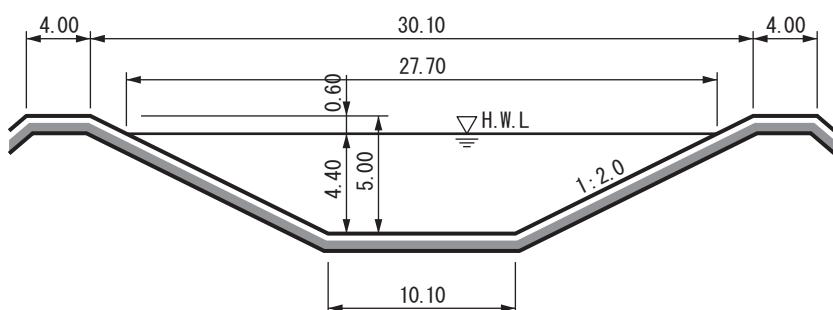
都市河川改修（亀井橋）



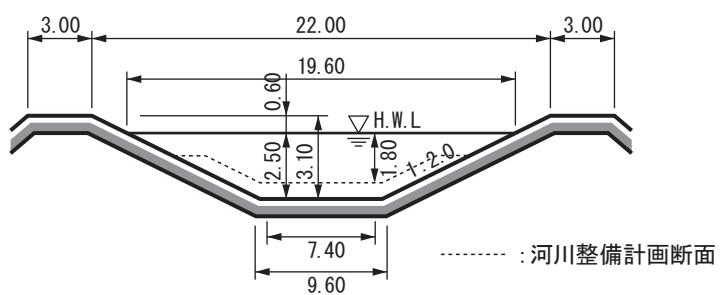
都市河川改修（水源橋）



都市河川改修（加曾利町地先）



都市河川改修（大草町地先）



## (口)利根川水系の河川事業

### (a) 印旛放水路

印旛放水路は、印旛沼(西印旛沼)から八千代市大和田地先の排水機場を経て千葉市花見川区検見川地先の東京湾へ注ぐ延長 18,960m に及ぶ人工河川である。中流部は都市部に近接しているながらも良好な自然景観が保存され、野鳥や淡水魚の生育の場となっていることから、市民の格好の散策の場となって親しまれている。

この川の歴史は古く、印旛沼周辺の広大な沼湿地に開けた農地がたび重なる氾濫被害に遭っていたため洪水を軽減する排水路として、また検見川附近の開田に必要な用水を得るために、江戸時代より開削工事の必要性が検討されていた。

このため、千葉市花見川区横戸町地先を分水嶺とする沼側に注ぐ新川及び東京湾に注ぐ花見川に沿って開削する放水路工事は幾度となく試みられその都度政局の変動、人海工法のため完成に至らなかった。

昭和 20 年代に入り国の農業政策上印旛沼周辺の農業開発が国営事業として決定され悲願の放水路工事を近代的な技術と計画をもって着手された。

その後、東京湾沿岸の工業地帯化、また、周辺の住宅宅地等の開発による都市用水の需要増大が見込まれ、この確保も含めて昭和 38 年に印旛沼総合開発事業が発足し、水資源開発公団にこの放水路工事が引き継がれ幾多の変遷をみながら昭和 44 年現在の姿に完成され、同時に一級河川の指定がなされ河川法に基づく管理も加わり現在に至っている。

放水路のほぼ中央にあたる八千代市大和田地先に設けられた排水機場により河川の性格形状は大きく異なり平常時はこれより上流は沼へ注ぎ貴重な水源となっている。

また、これより下流はその流域の水を集め、東京湾に注いでいるが、洪水時にはポンプ運転( $Q_{max} 120 \text{ mm}^3/\text{s}$ )により東京湾へ強制排水することにより沼の水位調節を行っている。

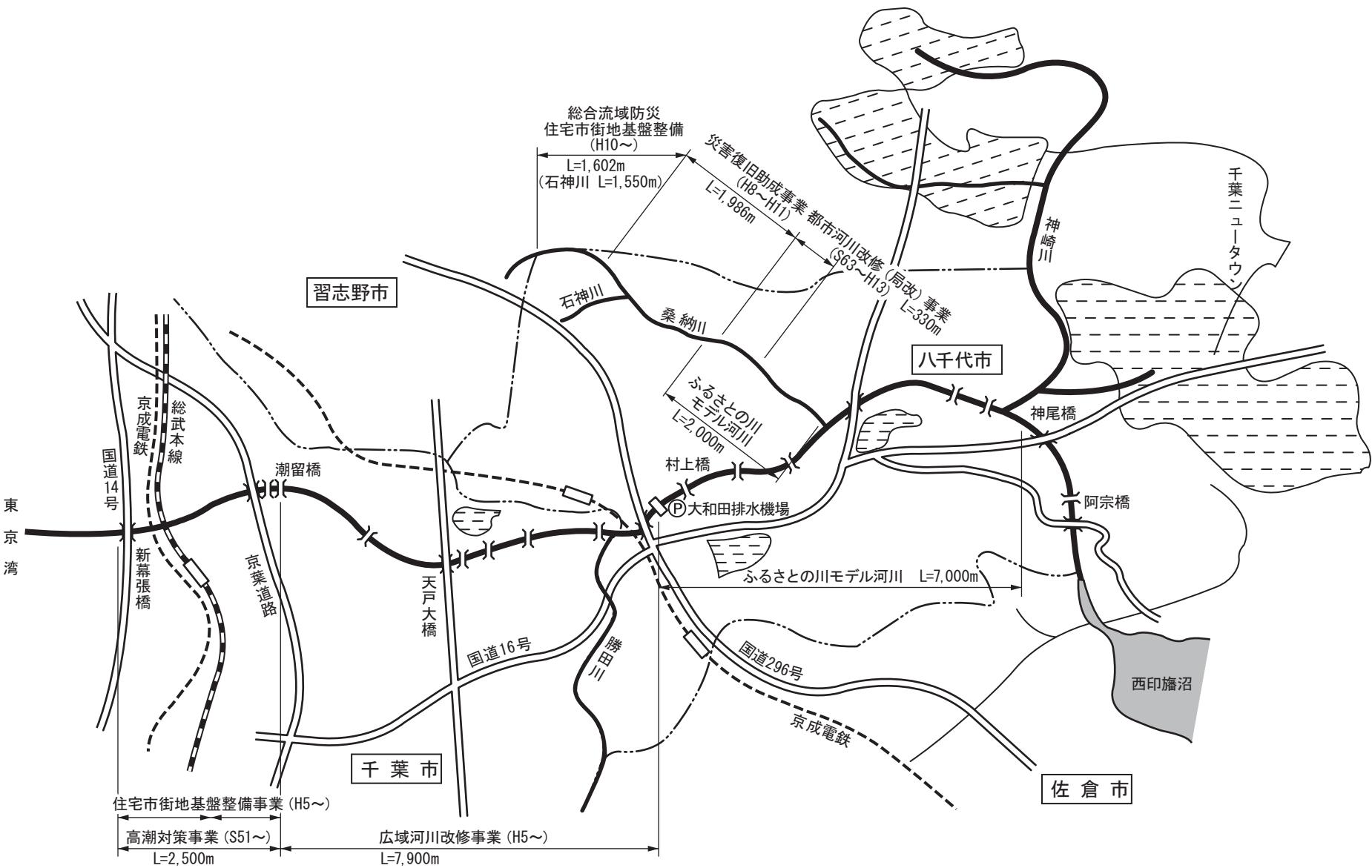
大和田排水機場から沼側の流路・護岸は住宅宅地関連事業により平成 6 年度に整備が完了した。

下流部の新幕張橋から潮留堰までの 2,500m 区間及びそこから 7,900m の大和田排水機場までについては各々高潮対策事業、広域河川改修事業で整備を図っている。

各事業とも都市部の貴重な公共空間を確保するため、できるだけ自然環境に配慮した工法を採用することとしている。

また、大和田排水機場から沼側神尾橋付近までの 7,000m の区間と、桑納川は合流点から 2,000m 上流までの整備計画が建設省より「ふるさとの川モデル事業」の認定を受け、周辺の自然環境を生かした川づくりに努めている。

印旛放水路概要図



( a ) 印旛放水路

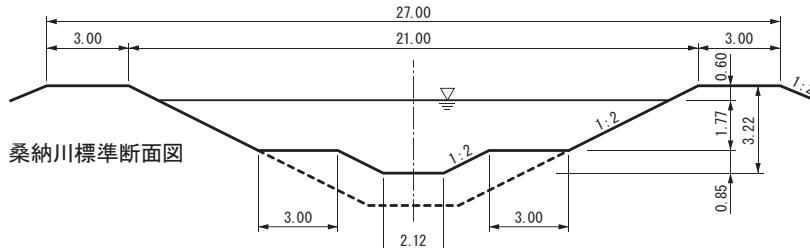
事業名	広域河川改修事業		
路線名	(一) 印旛放水路		
工事箇所	八千代市村上～千葉市花見川区		
《概要》 汐留橋から上流大和田排水機場間 7,900mについて計画流量を安全に流下させるよう河道の拡幅、掘削を進めているところである。			
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降
総事業費:10,700 百万円 L=7,900m 用地取得:20,000 m <sup>2</sup> 物件補償:1 式 本工事:道路橋 7 橋 水管橋 3 橋 樋門、樋管 5 基 築堤 15,800m 掘削 158,000 m <sup>3</sup> 事業年度:平成 5 年度 ～平成 31 年度	事業費:3,726 百万円 (進捗率 35%) 用地取得:12,542 m <sup>2</sup> 物件補償:1 式 本工事:築堤 180m 測量試験費:1 式	事業費:120 百万円 (進捗率 36%) 測量試験費:1 式 付帯工事:道路橋 2 橋	事業費:6,869 百万円 用地取得:7,458 m <sup>2</sup> 物件補償:1 式 本工事:道路橋 6 橋 水管橋 3 橋 樋門、樋管 5 基 築堤 15,490m 掘削 30,500 m <sup>3</sup>

《位置図》 印旛放水路概要図 (26 頁) 参照

(b) 桑納川

事業名	総合流域防災事業 住宅市街地基盤整備事業		
路線名	(一) 桑納川		
工事箇所	八千代市吉橋～船橋市古和釜		
《概要》	<p>桑納川上流部の地域は、市街化の進展、保水機能の低下などにより、強降雨時に、周辺地域への浸水被害が頻発している。さらに、都市再生機構による坪井特定土地区画整理事業(65ha)が進められた土地造成が概成しており、桑納川への負担がますます大きくなっている。</p> <p>このため、この土地区画整理事業と整合を図り、時間雨量50mmの降雨に対処することを当面の目標とし、河道の拡幅による流下能力の増加を図るとともに、洪水を一時貯留させ、河道への負担軽減を図る防災調節池を設置し、効率的な河川の整備を図る。</p>		
全体計画	平成25年度まで	平成26年度予定	平成27年度以降
総事業費:2,983百万円 L=702m 用地取得:38,488m <sup>2</sup> 物件補償:1式 本工事:護岸 防災調節池40,100m <sup>3</sup>	事業費:2,854百万円 (進捗率95%) 用地取得:38,488m <sup>2</sup> 文化財調査:1式 本工事:1式	事業費:34百万円 (進捗率95%) 本工事:1式	事業費:155百万 本工事:1式
事業費:1,130百万円 用地取得:17,870m <sup>2</sup> 物件補償:1式 本工事:橋梁1橋 築堤:352m 事業年度:平成10年度～平成27年度	事業費:1,100百万円 (進捗率98%) 用地取得:17,870m <sup>2</sup> 文化財調査:1式 本工事:橋梁1橋 掘削・築堤・護岸352m 樋管6基		事業費:30百万円 (進捗率100%) 樋管2基
事業費:1,863百万円 (千葉土木事務所分) 用地取得:20,618m <sup>2</sup> 物件補償:1式 本工事:掘削・築堤350m 事業年度:平成10年度～平成27年度	事業費:1,754百万円 (進捗率94%) 用地取得:20,618m <sup>2</sup> 文化財調査:1式 掘削・築堤・護岸240m 調節池掘削工:1式	事業費:34百万円 (進捗率96%) 調節池掘削工:1式	事業費:75百万 本工事:調節池掘削工1式
《位置図》			
《標準断面図》			

《標準断面図》



## (八) 急傾斜地崩壊対策事業

事業名	県単緊急急傾斜地崩壊対策事業		
路線名	急傾斜地崩壊危険区域 桑納3		
工事箇所	八千代市 桑納		
《概要》	<p>当該地区の斜面は浸食により不安定化し、崩落の危険性がある。</p> <p>このことから、がけ下の人命・人家を防護するため、がけの崩落防止工事を行い、人命・人家の安全確保を図るとともに効果的な災害対策を推進する。</p>		
全体計画	平成25年度まで	平成26年度予定	平成27年度以降
事業費：192百万円 本工事：長繊維補強土工 L=159m	事業費：152百万円 (進捗率 80%) 本工事：長繊維補強土工 134m	事業費：40百万円 (進捗率 100%) 本工事：長繊維補強土工 25m	平成26年度 完了予定
事業年度： 平成21年度～平成26年度			
《位置図》			
《標準断面図》			

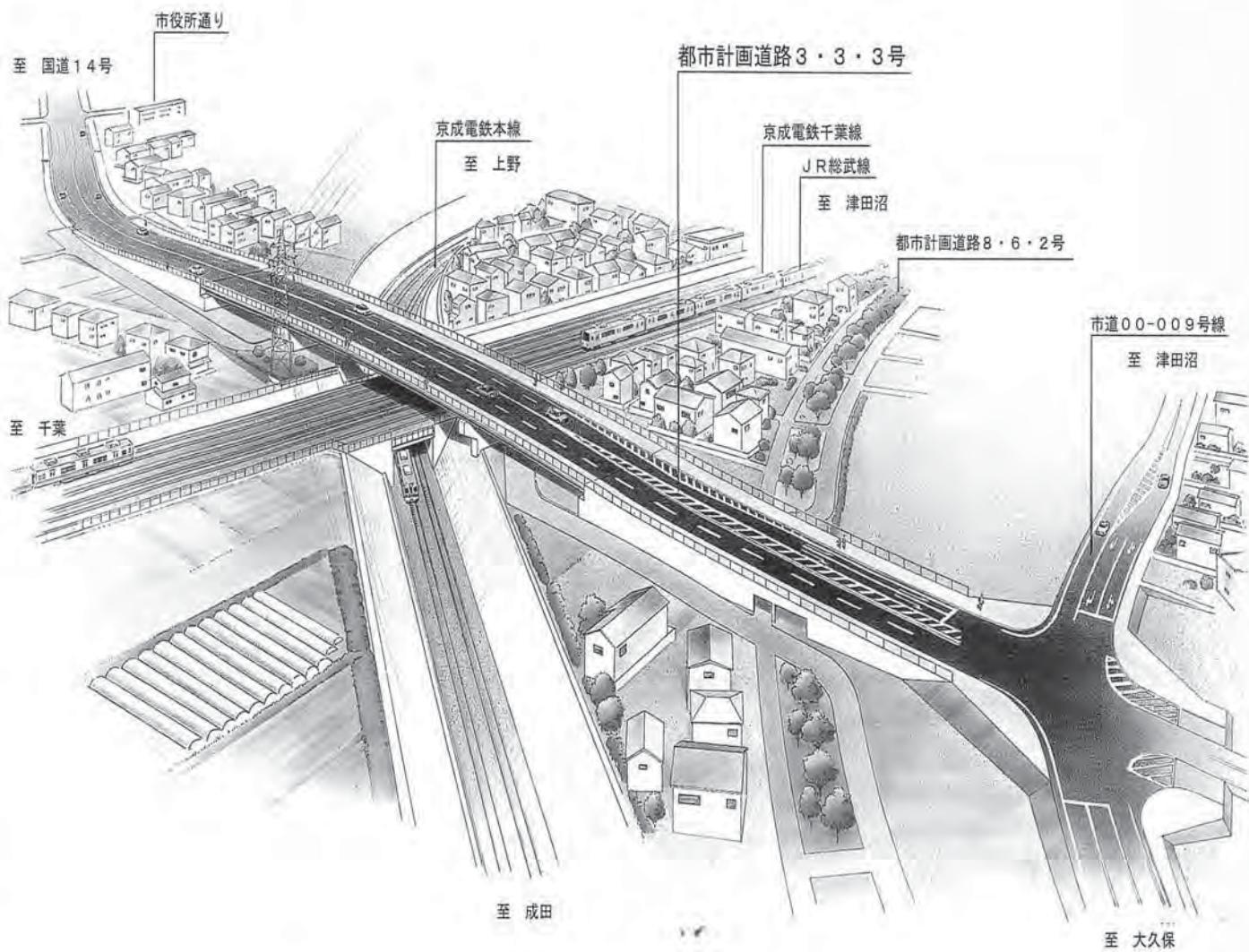
### (3) 街路事業

事業名	社会資本整備総合交付金（交付金街路）		
路線名	習志野都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線		
工事箇所	習志野市鷺沼台地先		
《概要》	本路線は、習志野市のほぼ中央を南北に貫き市街地の骨格をなす幹線道路であり、習志野市役所前通り（3・4・9号谷津鷺沼線）からマラソン道路までのJR総武線、京成本線及び京成千葉線との立体交差（オーバーパス）を含む延長635mの区間である。		
全体計画	平成25年度まで	平成26年度予定	平成27年度以降
総事業費：6,847百万円 L=635m W=22~40m 用地取得：14,170 m <sup>2</sup> 補償件数：46件 本工事：635m 事業年度：平成9年度～平成26年度	事業費：3,783百万円 (進捗率：55%) 用地取得：12,915 m <sup>2</sup> 補償件数：40件 本工事：20m	事業費：87百万円 (進捗率：57%) 用地取得：0 m <sup>2</sup> 補償件数：0件 本工事：100m	事業費：2,977百万円 用地取得：1,255 m <sup>2</sup> 補償件数：6件 本工事：515m

《位置図》



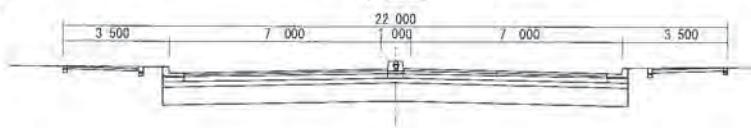
習志野市都市計画道路3・3・3号 藤崎茜浜線



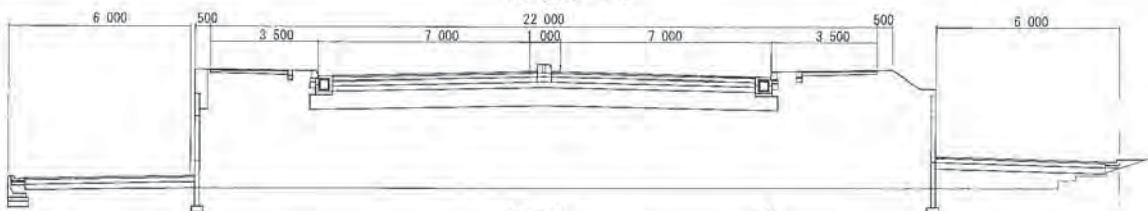
**断面図**

単位: mm

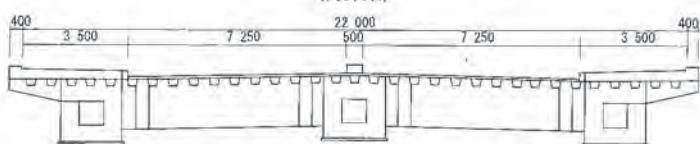
**平面部**



**高架部**



**橋梁部**



事業名	社会資本整備総合交付金（交付金街路）		
路線名	習志野都市計画道路3・3・1号 東習志野実粋線		
工事箇所	習志野市東習志野地先		
《概要》	本路線は、幕張新都心から京葉道路武石ICを通り、千葉市と習志野市及び八千代市の内陸部を結ぶ幹線道路の一部で、京成成田線との踏切が交通の流れを分断し、慢性的な交通渋滞の要因となっていることから、この踏切を含む延長607mを立体交差化（アンダーパス）することにより、交通渋滞の緩和と歩行者の安全確保を図る。		
	平成26年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、立体交差化のための擁壁築造工事に着手し、事業の推進を図る。		
全体計画	平成25年度まで	平成26年度予定	平成27年度以降
総事業費:5,600百万円 L=607m W=21.5~33.5m  用地取得:6,905 m <sup>2</sup> 補償件数:18件 本工事:607m 事業年度:平成9年度 ~平成31年度	事業費:4,004百万円 (進捗率:72%)  用地取得:6,625 m <sup>2</sup> 補償件数:13件 本工事:BOX本体工事 (片側) 地盤改良工事 擁壁工事 (南側の片側)	事業費:158百万円 (進捗率:74%)  用地取得:0 m <sup>2</sup> 補償件数:0件 擁壁工事 (北側の片側)	事業費:1,645百万円  用地取得:280 m <sup>2</sup> 補償件数:5件 本工事:607m BOX本体工事(片側)

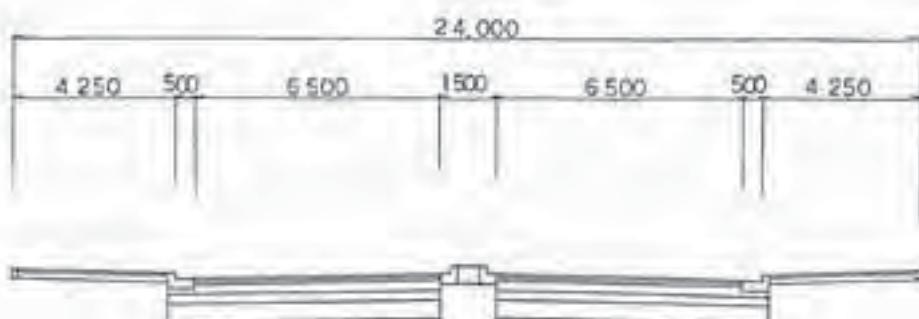
《位置図》



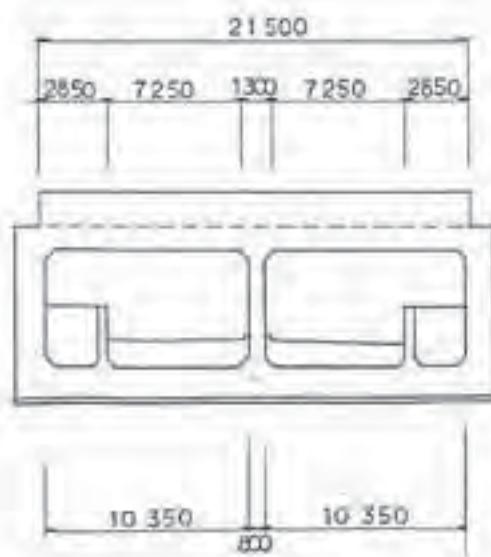
# 習志野都市計画道路3・3・1号東習志野実糾線 完成予想図



## 一般部

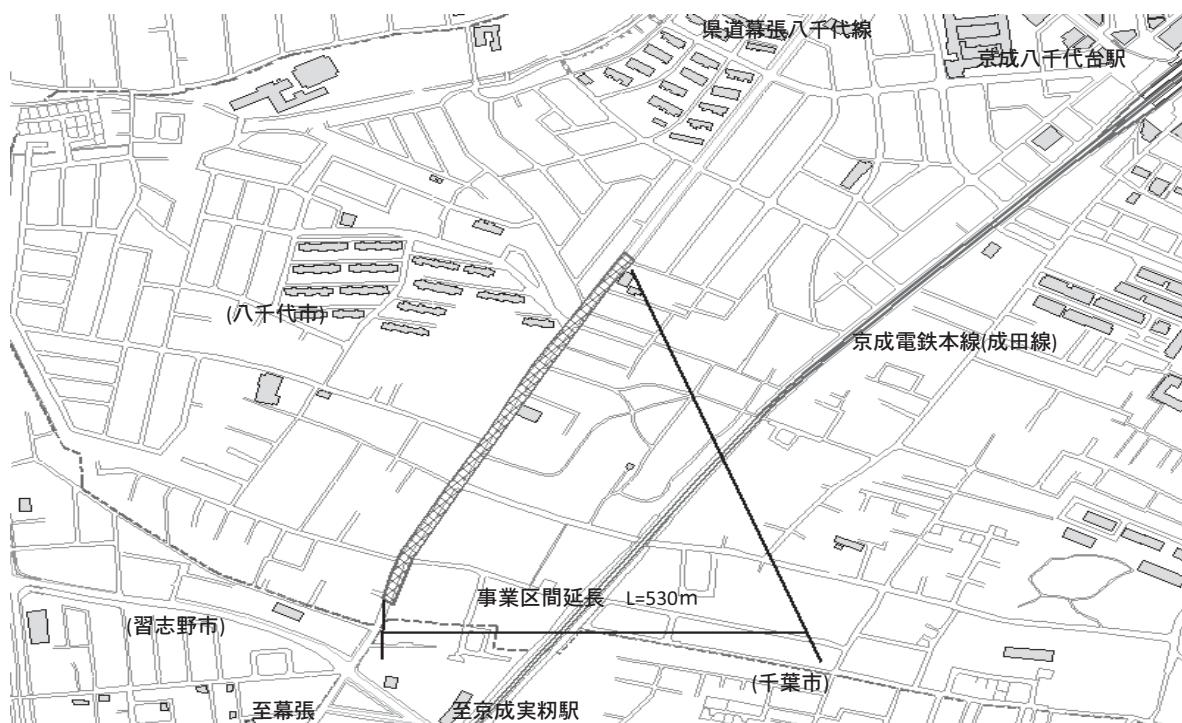


## トンネル部

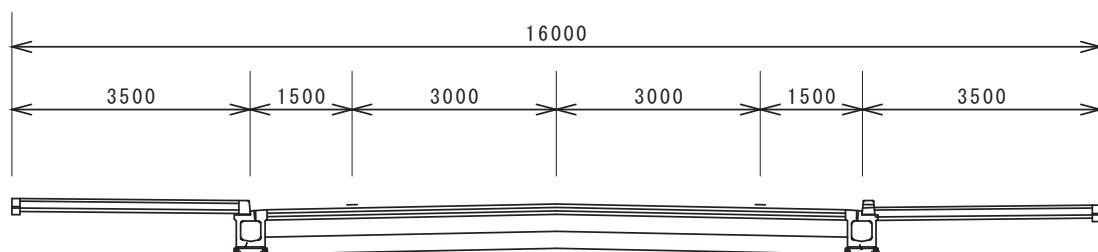


事業名	社会資本整備総合交付金（交付金街路）					
路線名	八千代都市計画道路3・4・6号 八千代台花輪線					
工事箇所	八千代市八千代台西地先					
《概要》 本路線は、幕張新都心から京葉道路武石 IC を通り、八千代市を結ぶ幹線道路の一部で、東葉高速鉄道の開通などにより交通量の多い区間であるにもかかわらず、通学路として歩道も確保されていない現況から、歩車道を分離し交通混雑の緩和と歩行者の安全確保を目的に事業推進を図る。						
平成 26 年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、一部の道路改良工事を行い、事業の推進を図る。						
全体計画	平成 25 年度まで	平成 26 年度予定	平成 27 年度以降			
総事業費：2,204 百万円 L=530m W=16m 用地取得：3,530 m <sup>2</sup> 補償件数：35 件 本工事：530m 事業年度：平成 4 年度～平成 27 年度	事業費：1,702 百万円 (進捗率：77%) 用地取得：3,211 m <sup>2</sup> 補償件数：28 件 片側歩道：229m	事業費：33 百万円 (進捗率：79%) 用地取得：0 m <sup>2</sup> 補償件数：0 件 物件調査：2 件 片側歩道：160m	事業費：423 百万円 用地取得：319 m <sup>2</sup> 補償件数：7 件 本工事：530m			

《位置図》

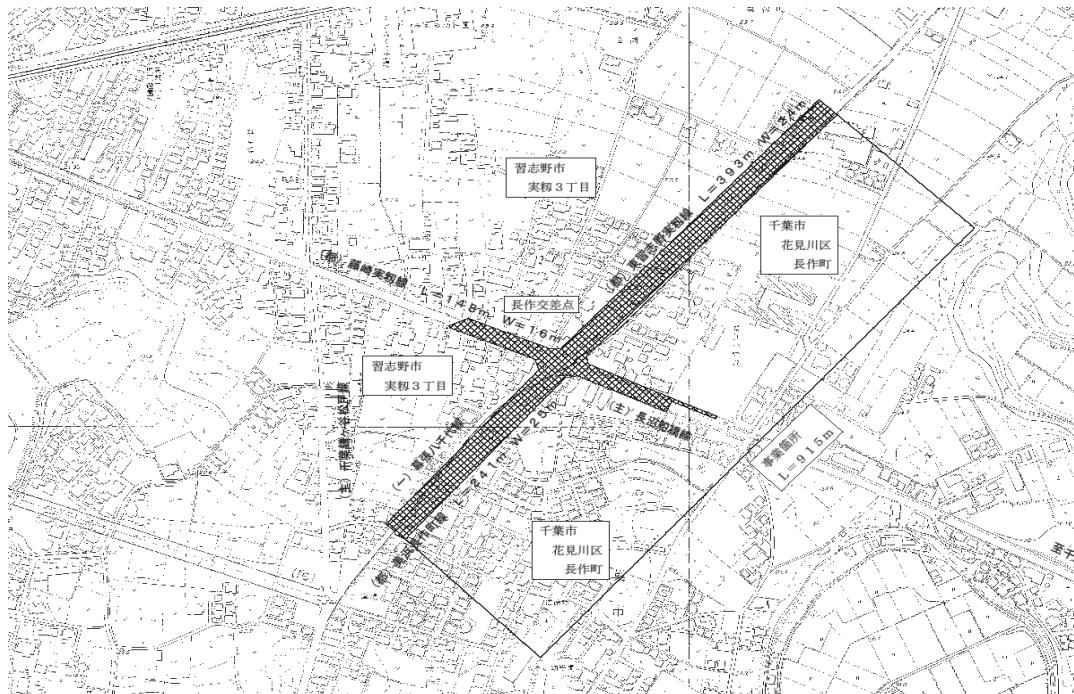


《標準断面図》

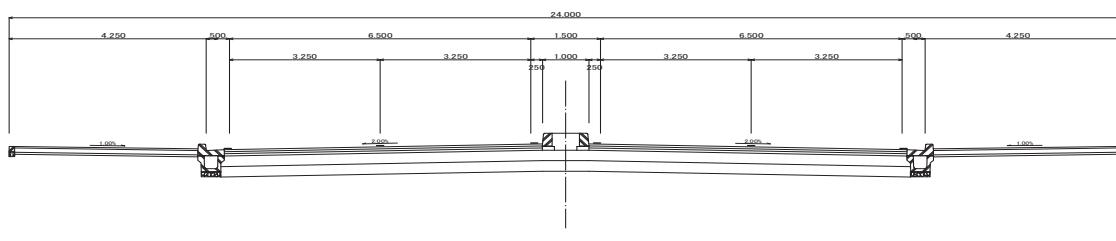


事業名	社会資本整備総合交付金（交付金街路）
路線名	千葉都市計画道路 3・3・15号 美浜長作町線外 2線
工事箇所	習志野市実粂地先、千葉市花見川区長作町地先
《概要》	<p>本路線は、千葉市の幕張新都心と八千代市市街地などの内陸部と結ぶ幹線道路で、一般県道幕張八千代線に位置付けられている。本路線の渋滞ポイントである長作交差点は、現在、二車線の右折レーンの無い平面交差であり、京葉道路武石インターチェンジから国道 16 号へ向かう右折車両が多く、それらが原因で慢性的な交通渋滞が発生している。また、歩道はあるものの、部分的に狭く、歩行者の安全の確保が極めて難しい状況にある。そこで、長作交差点の改良及び4車線化することにより交通渋滞の解消を図り、円滑な交通を確保するとともに、交通安全の向上に大きく寄与するものである。</p> <p>平成 26 年度は、物件調査及び用地取得を推進する。</p>

《位置図》



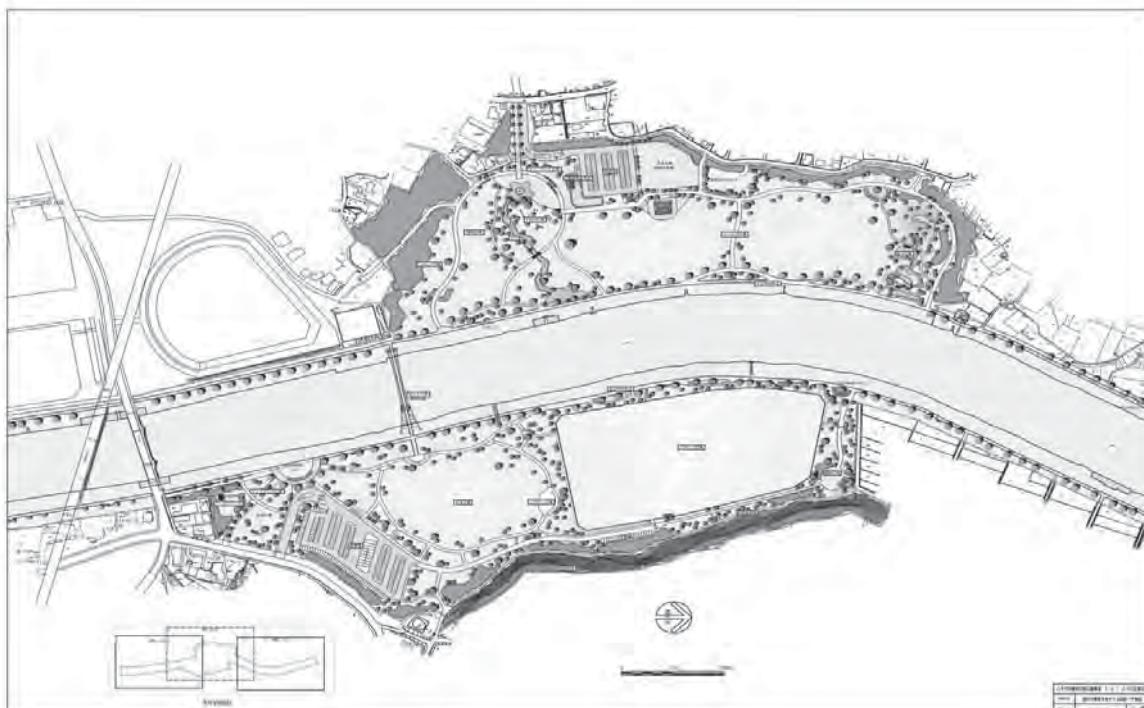
《標準斷面圖》



#### (4) 公園事業

事業名	社会資本総合交付金(公園)					
路線名	八千代都市計画公園9・6・1号 八千代広域公園（広域公園）					
工事箇所	八千代市萱田・村上					
<b>《概要》</b> 本公園は、新川（印旛放水路）沿川の立地特性を活かし、「水辺とスポーツ・情報文化とのふれあい」をテーマに掲げ、県民のレクリエーション活動の中核を担う公園として整備推進を図る。						
平成26年度は、村上地区の基盤整備及び施設整備を実施し、一部供用開始に向けた事業の推進を図る。						
全体計画	平成25年度まで	平成26年度予定	平成27年度以降			
総事業費:13,464百万円 計画面積:53.4ha (うち34.8haは河川区域) 用地取得:16.81ha 萱田地区:8.14ha 村上地区:8.67ha 本工事:18.6ha 事業年度:平成7年度 ~平成30年度	事業費:9,867百万円 (進捗率:73%)  用地取得:15.14ha 萱田地区:6.49ha 村上地区:8.65ha 本工事:0.7ha (遊歩道整備図 L=1,150m W=3m) (基盤整備、施設整備)	事業費:61百万円 (進捗率:74%)  用地取得:0.00ha 萱田地区:0.00ha 村上地区:0.00ha 本工事:0.1ha (基盤整備、施設整備)	事業費:3,536百万円  用地取得:1.67ha 萱田地区:1.65ha 村上地区:0.02ha 本工事:17.8ha			

《位置図》



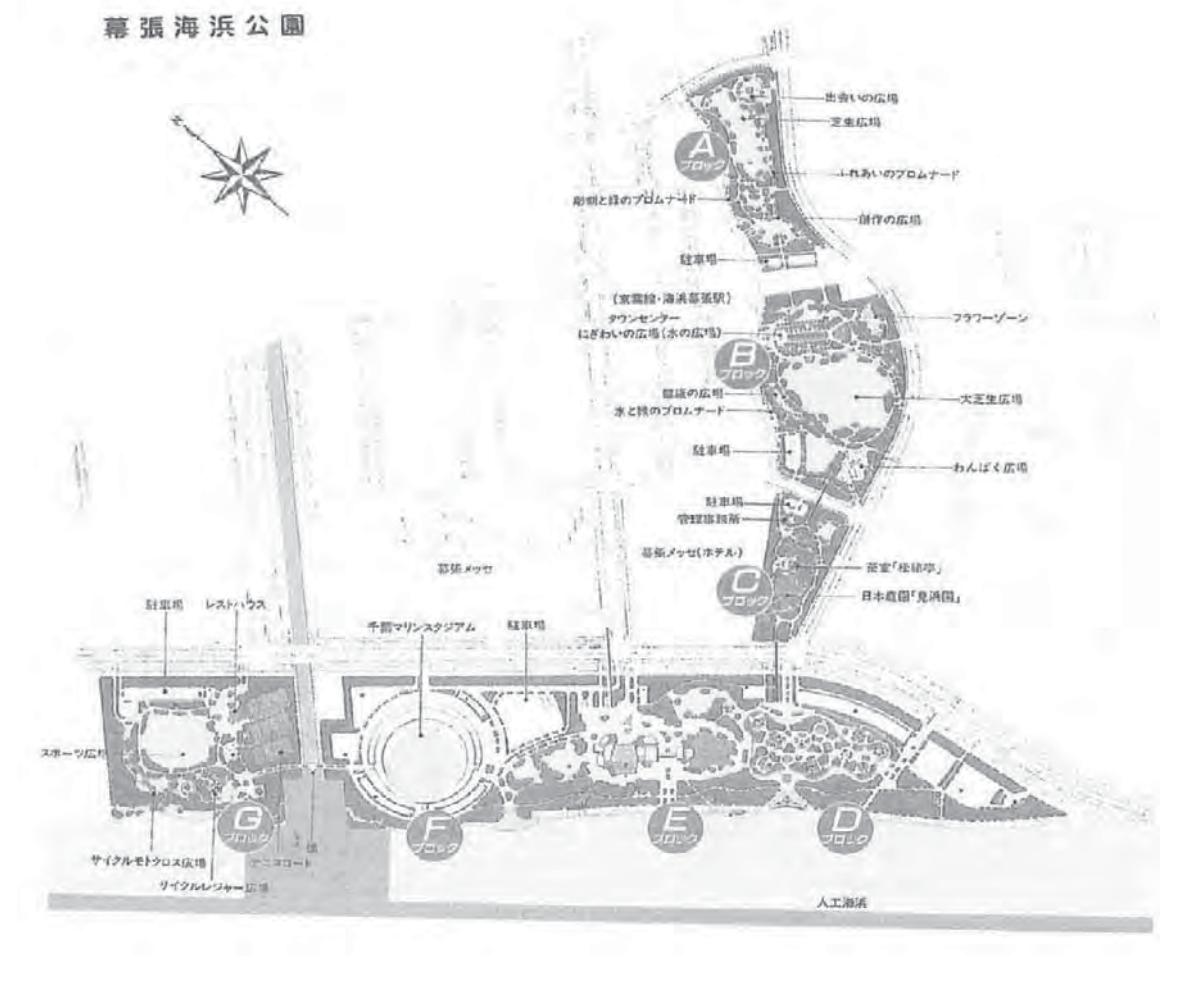
事業名	防災・安全社会資本整備交付金（公園）
路線名	千葉都市計画公園9・6・1号幕張海浜公園（広域公園）
工事箇所	千葉市美浜区ひび野

《概要》 本公園は、「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際都市「幕張新都心」の憩いと安らぎの空間として、新都心にふさわしい魅力ある広域公園として整備するとともに、災害時の避難緑地としての機能も備えた公園として整備を図る。

JR京葉線側のA・B・Cブロックは、都市計画整備が完了し供用済みであり、海浜側のD・E・Fブロック及びGブロックの一部は暫定供用済みである。平成26年度はパーゴラ更新工事を実施する。

全体計画	平成25年度まで	平成26年度予定	平成27年度以降
総事業費：18,000百万円 計画面積：71.9ha 事業年度：昭和56年度～平成7年度 (平成8年度以降は単独事業)	事業費：13,772百万円 (進捗率：77%) 供用面積：67.9ha (供用率：94%)	事業費：70百万円 (進捗率：77%)	事業費：4,158百万円

### 《位置図》



## 6. 道路、河川等の現況

### (1) 道路路線別概要

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分 路線名	実延長 (m)	種類別内訳				歩道延長 延長(m)
		道路延長 (m)	橋梁		トンネル	
			箇所	延長(m)		
【県管理】						
一般国道						
(国) 14 号	3,545	3,545	0	0		3,382
(国) 296 号	6,027	5,982	1	45		5,579
計 2 路線	9,572	9,527	1	45		8,961
主要地方道						
(主) 千葉竜ヶ崎線	3,298	3,224	1	74		3,298
(主) 千葉鎌ヶ谷松戸線	4,156	4,156	0	0		3,632
(主) 船橋印西線	10,819	10,466	3	353		8,513
(主) 長沼船橋線	3,888	3,883	1	5		3,586
(主) 千葉船橋海浜線	2,175	2,132	2	43		2,141
計 5 路線	24,336	23,861	8	475		21,170
一般県道						
(一) 幕張八千代線	5,223	5,216	1	7		4,137
(一) 八千代宗像線	2,690	2,598	1	92		2,016
(一) 大和田停車場線	851	851	0	0		220
(一) 津田沼停車場線	1,733	1,701	1	32		1,205
計 4 路線	10,497	10,366	3	131		7,578
自転車道						
八千代印旛栄自転車道線	887	887	0	0		
計 1 路線	887	887	0	0		
合計 12 路線	45,292	44,641	※11	651		37,709

※橋梁の箇所数には側道橋(5箇所)を含まない。

(2) 1・2級河川(指定区域)

級種	水系名	河川名	区 域	
			上 流 端	下 流 端
一級	利根川	印旛放水路	西印旛沼からの流出点(阿宗橋)かど	東京湾に至る
一級	利根川	桑納川	船橋市坪井町353番地先の市道橋	印旛放水路への合流点
一級	利根川	石神川	左岸 八千代市吉橋字石神 1885番2地先 右岸 八千代市吉橋字西内野 1894番4地先	桑納川への合流点
一級	利根川	鹿島川	千葉市若葉区下泉町地先の県道川上八街線橋下流端	西印旛沼への流入点
一級	利根川	勝田川	千葉市花見川区宇那谷町2123番2地先の宇那谷橋	印旛放水路への合流点
小計 1水系 5河川				
二級	谷津川	谷津川	左岸 習志野市秋津5丁目10番2地先 右岸 習志野市秋津5丁目2番2地先	海に至る
二級	菊田川	菊田川	左岸 習志野市香澄1丁目1番1地先 右岸 習志野市袖ヶ浦6丁目27番地先	海に至る
二級	菊田川	支川菊田川	左岸 習志野市秋津2丁目17番地先 右岸 習志野市秋津2丁目17番地先	菊田川への合流点
二級	都川	都川	左岸 千葉市若葉区高根町224番地先 右岸 千葉市若葉区高根町139番地先	海に至る
二級	都川	葭川	左岸 千葉市中央区富士見町4丁目11番地先 右岸 千葉市中央区栄町156番地先曙橋上流端	都川への合流点
二級	都川	支川都川	左岸 千葉市緑区大金沢町1100番地先 右岸 千葉市緑区誉田町1丁目936番2地先	都川への合流点
二級	浜野川	浜野川	左岸 千葉市中央区南生実町797番地先 右岸 千葉市中央区南生実町798番地先	海に至る
二級	生実川	生実川	左岸 千葉市中央区生実町1141番3地先 右岸 千葉市中央区生実町1113番3地先	海に至る
二級	村田川	村田川	左右岸 千葉市緑区土気町板倉地先県道土氣停車場金剛地線道路橋上流端	海に至る
二級	村田川	ミカダ川	左岸 千葉市緑区大木戸町1215、1216番(合併)48地先 右岸 千葉市緑区大木戸町1215、1216番(合併)48地先	瀬又川への合流点
二級	浜田川	浜田川	左岸 千葉市花見川区幕張町1丁目7680番2地先 右岸 千葉市美浜区幕張西4丁目7807番1地先	海に至る
小計 7水系 11河川				
合計 8水系 16河川				

注) 二級河川坂月川は平成20年4月に千葉市へ移管された。

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

実 延 長			流域面積 (km <sup>2</sup> )	指定年月日・告示番号
延長	改良(比率)	未改良		
左右岸各 18,960m	11,800m (62%)	7,160m	上流 104.10 下流 63.00	昭和 44 年 3 月 20 日政令 31 号 (昭和 44 年 4 月 1 日から施行)
左右岸各 当所管理 5,400m 4,500m	3,980m (88%)	520m	26.10	昭和 61 年 4 月 5 日告示 962 号 平成 10 年 4 月 9 日告示 1147 号
左右岸各 1,550m	0m (0%)	1,550m	1.83	平成 10 年 4 月 9 日告示 1147 号
左右岸各 当所管理 18,909m 2,000m	2,000 (100%)	0m	251.90	明治 40 年 12 月 13 日告示 309 号 昭和 4 年 9 月 20 日告示 382 号改正 昭和 40 年 2 月 26 日告示 110 号改正
左右岸各 3,590m	0m (0%)	3,590m	20.24	平成 6 年 7 月 25 日告示 1697 号
指定延長 48,409m 管理延長 30,600m	17,780m (58%)	12,820m (42%)		
左右岸各 1,140m	1,140m (100%)	0m	3.10	昭和 60 年 2 月 22 日告示 149 号
左右岸各 2,420m	2,420m (100%)	0m	5.80	昭和 60 年 2 月 22 日告示 149 号
左右岸各 460m	460m (97%)	0m	5.40	昭和 60 年 2 月 22 日告示 149 号
左右岸各 13,051m	12,651m (100%)	400m	71.65	昭和 4 年 9 月 20 日告示 382 号 昭和 45 年 6 月 1 日告示 341 号改正
左右岸各 1,060m	1,060m (100%)	0m	14.93	昭和 45 年 6 月 1 日告示 341 号
左右岸各 6,550m	6,550m (100%)	0m	12.60	昭和 45 年 6 月 1 日告示 341 号 昭和 49 年 3 月 8 日告示 231 号改正
左右岸各 3,261m	3,261m (100%)	0m	6.90	昭和 45 年 6 月 1 日告示 341 号
左右岸各 2,164m	2,084m (96%)	80m	5.66	平成 10 年 2 月 20 日告示 120 号
左右岸各 当所管理 17,481m 4,500m	45m (1%)	4,455m	119.90	昭和 4 年 9 月 20 日告示 382 号 昭和 37 年 6 月 8 日告示 241 号改正 昭和 43 年 3 月 27 日告示 118 号の 2 改正
左右岸各 当所管理 1,500m 525m	525m (100%)	0m	1.60	昭和 63 年 1 月 26 日告示 50 号
左右岸各 2,160m	2,160m (100%)	0m	14.25	昭和 63 年 12 月 13 日告示 9635 号
指定延長 51,247m 管理延長 37,291m	32,356m (80%)	4,935m (12%)		
指定延長 99,656m 管理延長 67,891m	50,136m (74%)	17,755m (25%)		

## (3) 急傾斜地崩壊危険区域指定地

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	区域名	所在地	面積(㎡)	指定年月日	告示番号
1	小仲台	千葉市稻毛区小仲台	21,046.25	S. 47. 9. 26	千第 661 号
2	八千代台東五丁目	八千代市八千代台東五丁目	27,913.04	S. 47. 9. 26	千第 661 号
3	亥鼻	千葉市中央区亥鼻	3,815.36	S. 57. 4. 13	千第 337 号
4	大和田	八千代市大和田	8,610.76	S. 57. 12. 10	千第 990 号
5	南生実	千葉市中央区南生実町	5,878.75	S. 58. 12. 20	千第 1016 号
6	平戸	八千代市平戸	13,083.92	S. 60. 2. 19	千第 139 号
7	園生	千葉市稻毛区園生町	9,983.10	S. 60. 7. 12	千第 694 号
8	島田	八千代市島田	9,667.07	S. 63. 3. 29	千第 267 号
9	園生町	千葉市稻毛区園生町	2,928.89	H. 元. 8. 25	千第 784 号
10	萱田町	八千代市萱田町	1,318.17	H. 元. 9. 19	千第 839 号
11	谷津	習志野市谷津二丁目	591.82	H. 2. 3. 20	千第 203 号
12	鷺沼	習志野市鷺沼三丁目	10,245.05	H. 3. 12. 17	千第 1094 号
13	小山	千葉市緑区小山町	14,139.83	H. 4. 3. 24	千第 251 号
14	検見川五丁目	千葉市花見川区検見川五丁目	3,001.98	H. 5. 1. 22	千第 50 号
15	藤崎	習志野市藤崎二丁目	4,493.63	H. 5. 1. 22	千第 51 号
16	屋敷	習志野屋敷三丁目	2,624.57	H. 7. 1. 10	千第 5 号
17	桑納	八千代市桑納	8,345.54	H. 7. 1. 20	千第 34 号
18	島田 2	八千代市島田字腰巻	6,294.92	H. 7. 1. 20	千第 34 号
19	村上	八千代村上字宝喜作台	7,675.21	H. 7. 1. 20	千第 35 号
20	米本	八千代市米本字辺田台	17,779.87	H. 7. 5. 23	千第 546 号
21	板倉町	千葉市緑区板倉町	13,625.69	H. 7. 6. 20	千第 613 号
22	大草	千葉市若葉区大草町	18,336.13	H. 7. 6. 23	千第 626 号
23	花輪	八千代市吉橋字花輪	11,475.22	H. 7. 6. 23	千第 627 号
24	下高野 2	八千代市下高野字龜井田	9,636.73	H. 9. 4. 8	千第 356 号
25	小池	八千代市小池字小野	5,468.75	H. 9. 4. 8	千第 357 号
26	椎名崎町	千葉市緑区椎名崎町	6,294.05	H. 10. 12. 18	千第 984 号
27	大草町 2	千葉市若葉区大草町	7,224.17	H. 11. 3. 16	千第 217 号
28	島田 4	八千代市島田	10,622.75	H. 11. 5. 25	千第 541 号
29	稻毛東 2 丁目	千葉市稻毛区稻毛東二丁目	1,527.06	H. 11. 11. 26	千第 965 号
30	平戸 2	八千代市平戸	10,610.66	H. 11. 11. 26	千第 966 号
31	桑橋 1	八千代市桑橋	4,803.43	H. 13. 4. 27	千第 543 号
32	桑橋 3	八千代市桑橋	4,984.94	H. 13. 5. 25	千第 646 号
33	島田 3	八千代市島田	17,210.71	H. 13. 10. 16	千第 916 号
34	長作町 6	千葉市花見川区長作町	6,416.07	H. 14. 9. 13	千第 698 号
35	吉橋	八千代市吉橋	4,069.38	H. 15. 12. 26	千第 1033 号
36	上泉町 2	千葉市若葉区上泉町	5,456.12	H. 16. 6. 4	千第 573 号
37	大草町 1	千葉市若葉区大草町	8,712.17	H. 16. 7. 9	千第 656 号
38	天戸町 1	千葉市花見川区天戸町	10,693.18	H. 16. 9. 7	千第 774 号

	区域名	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	指定年月日	告示番号
39	桑納2	八千代市桑納	13,568.17	H.17.3.1	千第 158号
40	稻毛町五丁目	千葉市稻毛区稻毛町五丁目	1,219.77	H.17.11.15	千第 847号
41	刈田子町	千葉市緑区刈田子町	12,489.66	H.17.11.15	千第 848号
42	小食土町	千葉市緑区小食土町	2,288.81	H.17.11.15	千第 849号
43	貝塚町2	千葉市若葉区貝塚町	1,497.50	H.19.1.30	千第 79号
44	桑納3	八千代市桑納	7,723.48	H.19.8.31	千第 885号
45	貝塚町5	千葉市若葉区貝塚町	2,618.90	H.20.5.16	千第 489号
46	加曾利町4	千葉市若葉区加曾利町	2,970.95	H.20.5.16	千第 490号
47	坂月町3	千葉市若葉区坂月町	6,422.62	H.20.6.17	千第 550号
48	園生2	千葉市稻毛区園生町	4,536.71	H.20.11.7	千第 814号
49	園生6	千葉市稻毛区園生町	4,117.16	H.23.3.2	千第 129号
計	49箇所		396,058.77		

(4) 地すべり防止区域指定地

(平成26年3月31日現在)

区域名	所在地	面積(ha)	指定年月日	告示番号
八千代台	八千代市八千代台東六丁目	3.1	S.55.12.2	建告示 1809号

(5) 国土交通省河川局所管海岸保全区域指定地

(平成26年3月31日現在)

沿岸名	海岸名	地区海岸名	延長(m)	指定年月日	告示番号
東京湾	習志野	習志野	5,100	S.33.5.31	千葉267号の2

(6) 都市計画道路

(平成26年3月31日現在)

	路線名	工事箇所	延長(m)
1	習志野都市計画道路3・3・3号 藤崎茜浜線	習志野市鷺沼台地先	635
2	習志野都市計画道路3・3・1号 東習志野実穀線	習志野市東習志野地先	607
3	八千代都市計画道路3・4・6号 八千代台花輪線	八千代市八千代台西地先	530
4	千葉都市計画道路3・3・15号 美浜長作町線外2線	習志野市実穀地先 千葉市花見川区長作町地先	915
計	4路線		2,687

(7) 都市公園

(平成26年3月31日現在)

	名称	所在地	開設年月日	計画面積	開設面積
1	青葉の森公園	千葉市中央区青葉町	(当初)昭和62年4月 (最終)平成9年4月	53.7ha	53.7ha
2	幕張海浜公園	千葉市美浜区ひび野	(当初)昭和62年4月 (最終)平成17年3月	71.9ha	67.9ha
3	羽衣公園	千葉市中央区市場町	昭和40年4月28日	0.6ha	0.6ha
4	県スポーツセンター	千葉市稻毛区天台町	平成3年4月1日	42.6ha	42.6ha
5	八千代広域公園	八千代市萱田・村上	—	53.4ha	—
計	5箇所			222.2ha	164.8ha

## 7. 財産の管理状況

### 公有財産

#### 土地

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

種目	用途	所 在 地	面積(m <sup>2</sup> )	取得年月日	備 考
宅地	事務所敷地	千葉市中央区出洲港 533-1	3,644.86	S. 43. 2. 26	
宅地	事務所敷地	千葉市中央区出洲港 533-2	935.54	S. 43. 2. 26	
宅地	事務所敷地	千葉市中央区出洲港 533-3	1,111.05	S. 43. 2. 26	
宅地	事務所敷地	千葉市中央区出洲港 533-33	60.22	S. 43. 2. 26	
宅地	事務所敷地	千葉市中央区出洲港 533-34	332.89	S. 43. 2. 26	
宅地	事務所敷地	千葉市中央区出洲港 533-35	94.26	S. 43. 2. 26	
宅地	事務所敷地	千葉市美浜区幸町 1-38-2	1,653.00	S. 63. 5. 10	
宅地	資材置場	千葉市中央区寒川町 1-74-2	267.53	S. 26. 12. 23	
宅地	資材置場	千葉市中央区寒川町 1-79-6	1,104.49	S. 26. 12. 23	
合 計			9,203.84		

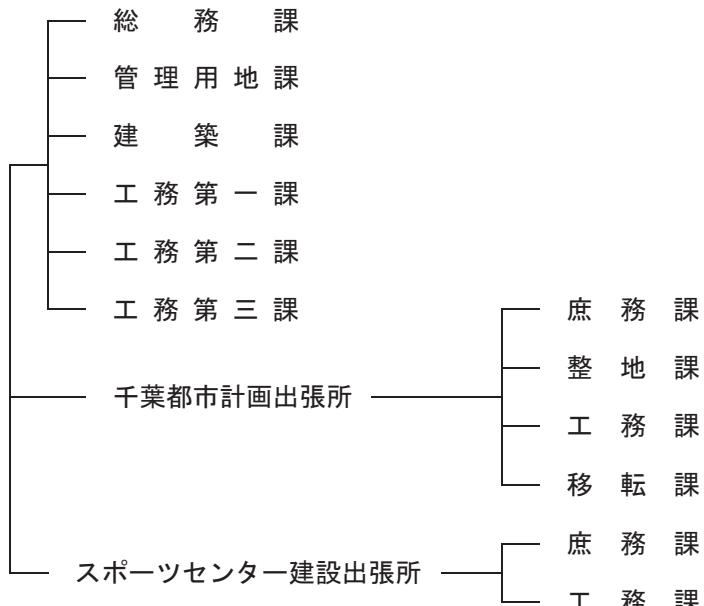
#### 建物

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

建物の名称	所 在 地	構造	面積(m <sup>2</sup> )	建築年月日
庁 舎	千葉市中央区出洲港 11-1	鉄筋コンクリート 2階建	811.20	S. 42. 8. 20
庁 舎	千葉市美浜区幸町 12-7	鉄筋コンクリート 2階建	790.08	H. 2. 3. 31
庁舎(増築分)	千葉市中央区出洲港 11-1	鉄筋コンクリート 2階建	130.85	S. 54. 1. 27
車 庫	千葉市中央区出洲港 11-1	鉄骨造 平屋	234.00	S. 43. 12. 20
車 庫	千葉市美浜区幸町 12-7	鉄骨造 2階建	176.40	H. 2. 3. 31
倉 庫	千葉市中央区出洲港 11-1	鉄筋コンクリート 平屋	147.50	S. 47. 7. 5
倉 庫	千葉市中央区出洲港 11-1	鉄骨造 2階建	400.00	S. 47. 7. 5

## 8. 千葉土木事務所機構の変遷（平成 16 年度～平成 22 年度は千葉地域整備センター）

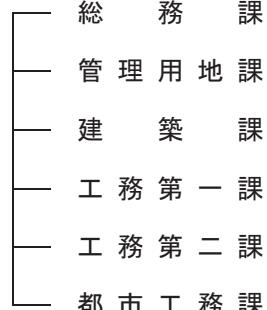
### ●昭和 40 年度～42 年度



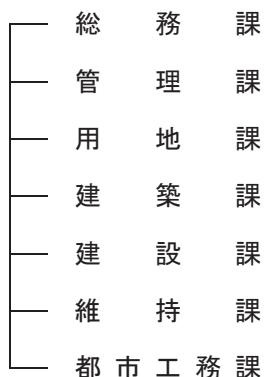
### ●昭和 43 年度～46 年度



### ●昭和 47 年度～49 年度



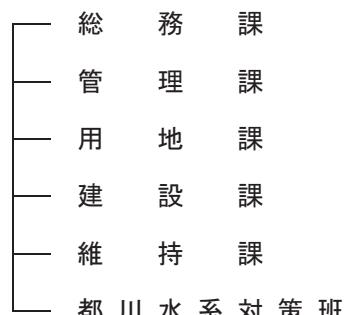
### ●昭和 50 年度～57 年度



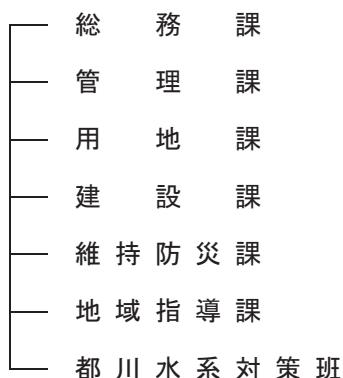
### ●昭和 58 年度



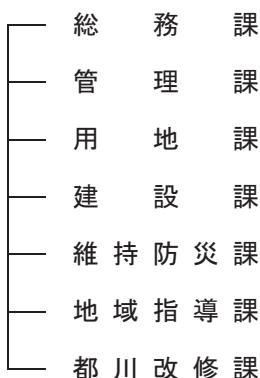
### ●昭和 59 年度～61 年度



### ●昭和 62 年度



### ●昭和 63 年度～平成元年度



### ●平成 2 年度～3 年度



●平成4年度～5年度

- 総務課
- 管理課
- 用地班
- 建設課
- 維持課
- 都川改修班

●平成6年度～7年度

- 総務課
- 管理課
- 用地班
- 建設班
- 維持班
- 都川改修班

●平成8年度～10年度

- 総務課
- 管理班
- 用地班
- 建設班
- 維持班
- 都川改修班

●平成11年度

- 総務課
- 管理班
- 用地班
- 調整班
- 建設班
- 維持班
- 都川改修班

●平成12年度～15年度

- 総務課
- 管理課
- 用地課
- 調整課
- 建設課
- 維持課
- 都川改修課

●平成16年度～19年度

- 総務課
- 管理課
- 用地課
- 調整課
- 建設課
- 維持課

●平成20年度～23年度

- 総務課
- 管理課
- 用地課
- 調整課
- 建設課
- 維持課
- 建築宅地課
- 公園街路課

●平成24年度～25年度

- 総務課
- 管理用地課
- 調整課
- 建設課
- 維持課
- 建築宅地課
- 公園街路課

●平成26年度～

- 総務課
- 管理用地課
- 調整課
- 建設課
- 維持課
- 公園街路課

## 9. 歴代所長

昭和40・41年度	石川 金司	昭和56年度	庄司 武文	平成5年度	辻 文博	平成18年度	熊本 秀樹
昭和42・43年度	石井 泉	昭和57年度	野田 親昭	平成6・7年度	平田 拓資	平成19年度	田邊 信次
昭和44・45年度	白井 正夫	昭和58年度	森 喜一	平成8年度	仲野 昭義	平成20年度	佐久間博機
昭和46・47年度	栗津慶二郎	昭和59年度	根本 亮	平成9・10年度	高橋 郁夫	平成21・22年度	金澤 和信
昭和48年度	川上 良平	昭和60・61年度	齋藤多喜雄	平成11年度	平井東洋彦	平成23年度	大道 等
昭和49年度	宮野 登	昭和62年度	葉山 信利	平成12年度	藍 重光	平成24年度	安室 和宏
昭和50年度	庄司 武文	昭和63年度	木内 康雄	平成13年度	藍郷黎治郎	平成25年度	高澤 秀昭
昭和51・52年度	野田 親昭	平成元年度	谷本 晃一	平成14年度	川上七海兵	平成26年度	木村 俊治
昭和53年度	白井 正夫	平成2年度	菰田 直也	平成15年度	河端 計範		
昭和54年度	大塚 肅	平成3年度	南崎 貞彦	平成16年度	市川 大倫		
昭和55年度	小幡辰一郎	平成4年度	蜷川 信行	平成17年度	早川 地昭		



千葉県マスコットキャラクター  
「チバくん」



- JR総武線千葉駅下車……………約20分
- 京成電鉄千葉中央駅下車……………約15分
- JR外房線本千葉駅下車……………約10分
- JR京葉線千葉みなと駅下車……………約20分
- 千葉都市モノレール市役所前駅下車……約15分

## 千葉県千葉土木事務所

〒260-0023 千葉市中央区出洲港11-1  
Tel.043-242-6101 Fax.043-248-9763

□表紙の写真

一般県道八千代宗像線バイパス 八千代市堀の内  
社会資本整備総合交付金(住宅)工事(舗装工その3)(平成26年8月完成)